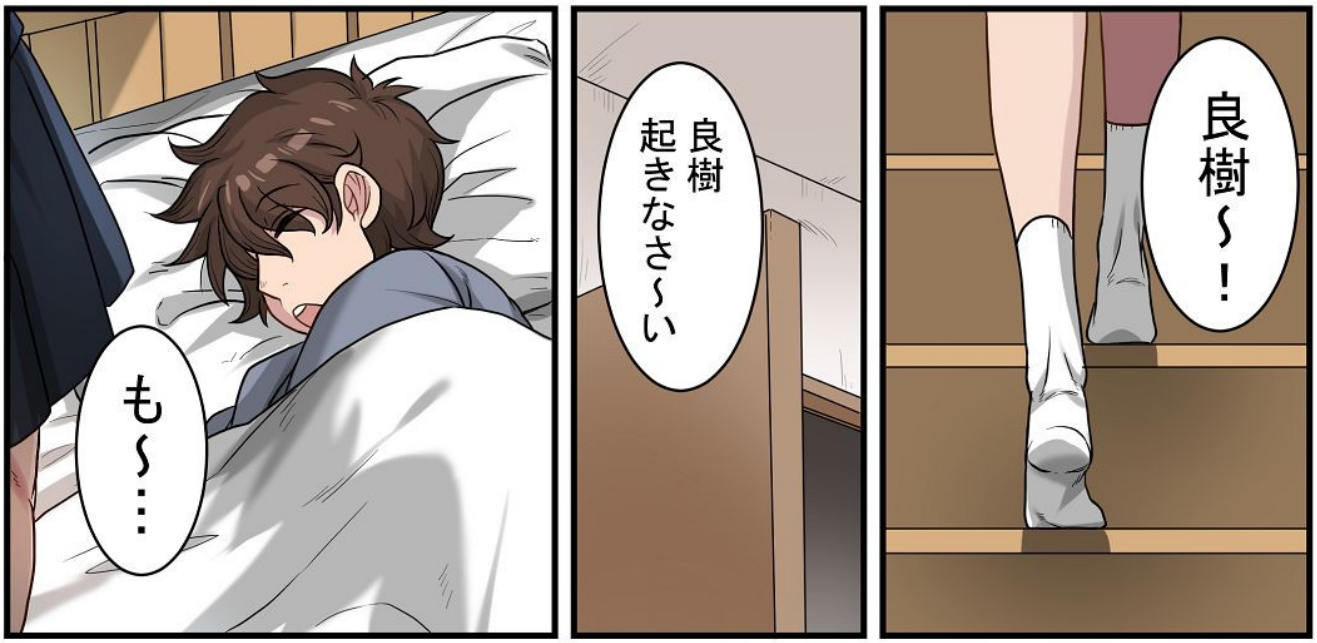
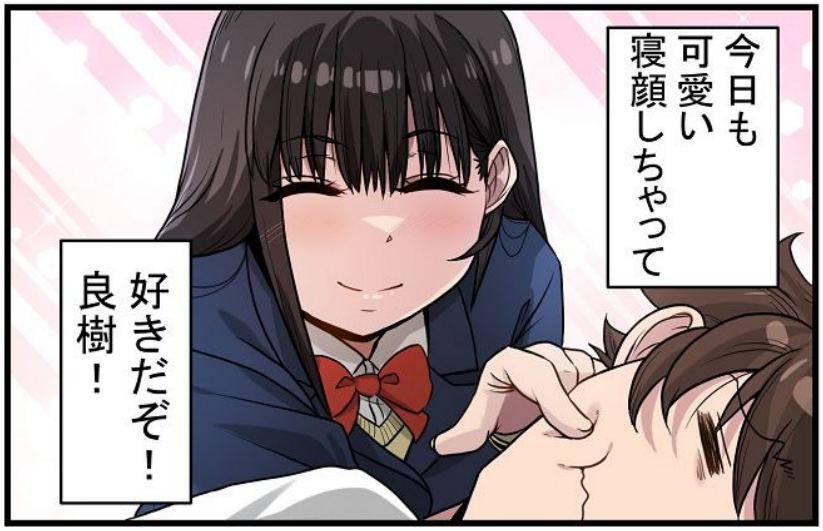
なんで俺じゃなくてこいつと……
～クラスのチャラ男に美人幼馴染を奪われました～

ジュ～
良樹の鉱物の甘い卵焼きも…
よし！
完璧ね！
五十嵐 聖子
あ…時間だわ！
良樹起こしに行かないと
行ってきます
お邪魔します！
ガチャ
カチャ
カチャ


良樹～！

良樹
起きなさ～い

も～…


今日も
可愛い
寝顔しちゃって
好きだぞ！
良樹！

もう少し
見てたいけど…
でも…

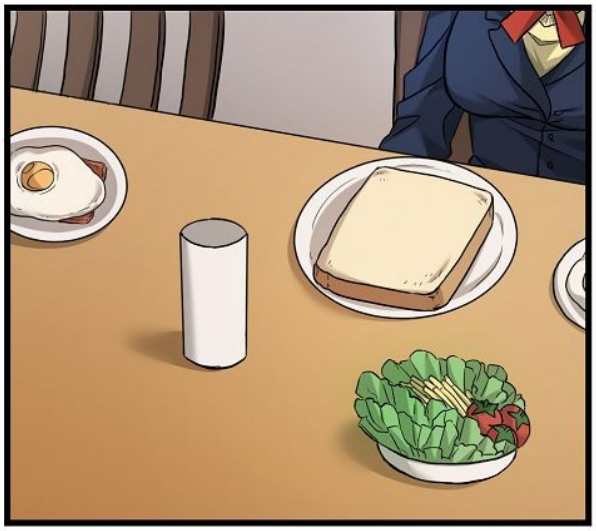
起きなさい！
遅刻
しちゃうわよ！
うわあ！

ふあぁ～
おはよ～
聖子
古谷　良樹

はい！おはよう！時間だよ良樹

早く用意して！朝ごはん一緒に食べよう

遅いよ良樹！
聖子が早すぎるんだよ
ギッ
イタダキマス



全然早くないよ！
これ以上遅かったら遅刻だよ！
そ…そう？
グィ
グィ

ん!?
あ…この匂い…

それにお母さん達は仕事行っ…
聖子…シャンプー変えたのか
スン
スン

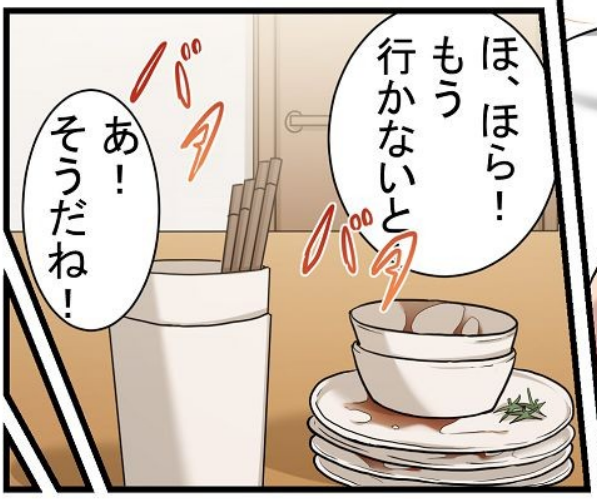
って！聞いてる？良樹！
ズイ
ビク
あ！聞いてるきいてる

ほんとにもう～
あはは～
ガサ
ゴソ

はい！今日のお弁当！
あ！

ゴッ
いつもありがとう！
聖子の作る卵焼きがいっちばん好きなんだよ

う…うん…


ほ、ほら！もう行かないと
あ！そうだね！
バタ
バタ

そういえば昨日の数学の課題の～

僕と聖子は幼馴染で

お！

アレ見て

咲きそう

あ～アレはね～

カワイー

これ見て

毎朝たわいもない話をしながら

おーヨシヨシ

聖子の事を特別に見える様になったのは

良樹の事を特別に見える様になったのは

アハハ

アハハ

初めて出会ったのは

お互いの親が親友同士で

ニコッ

そうなの？

本当よ、歳も同じ

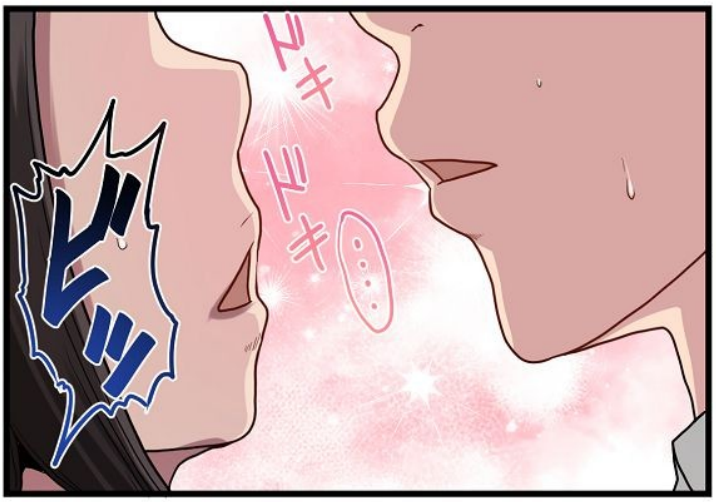
本当の兄弟の様にいつも一緒で…

でも…

クルッ

気づいた時には…

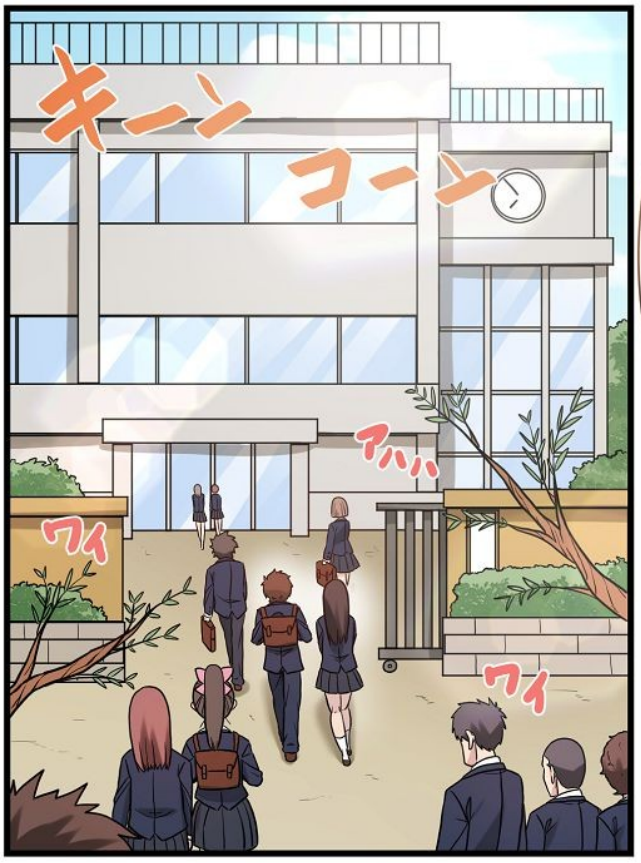
ドキッ


ドキ
ドキ
ビッ

あ…
あ～
えっとお…
カァ
カァ
カァ

ビィィ
パッ
ビィィィ

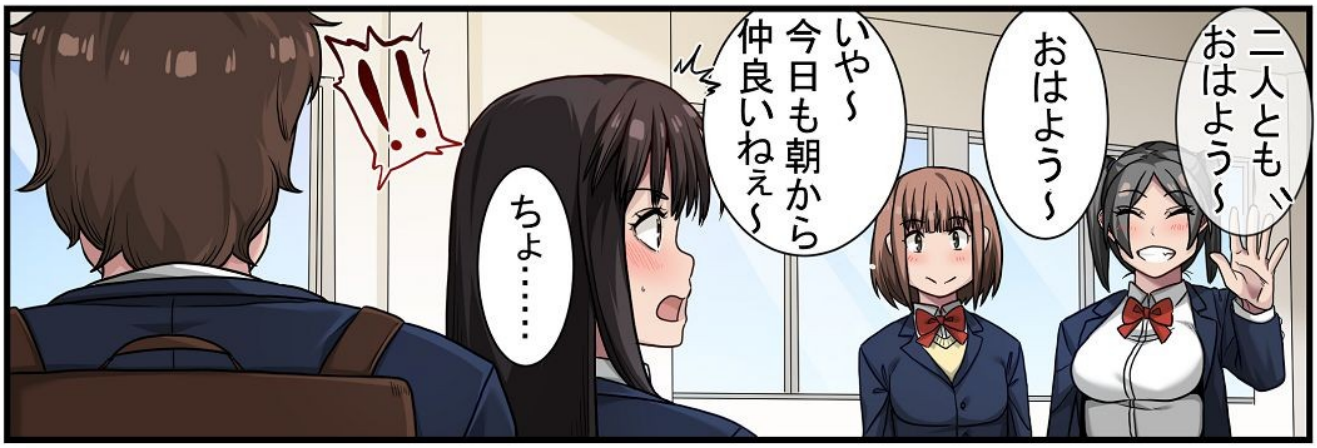
そう言えば昨日の数学の課題は～
その話はもうしたでしょ！
ドキ
ドキ
ペシ


キーン
コーン
ワハハ
ワイ
ワイ

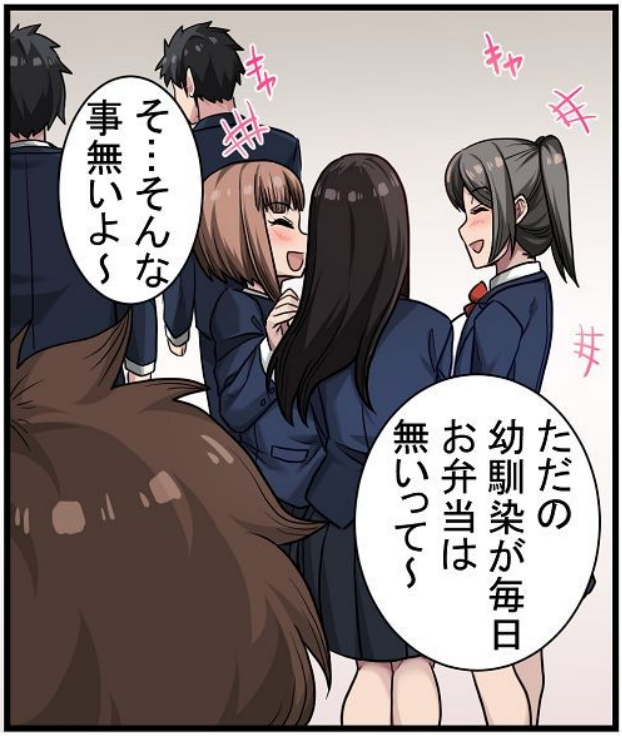
あれ…
引っかかって…
ととっ
!

ちょっと
手貸して

ごめんね
ピョコ
い…
いや…
全然…


二人とも
おはよう~
おはよう~
いや~
今日も朝から
仲良いねぇ~
ちょ……
!!

そんなんじゃ
ないったら!
幼馴染だから
これ位普通だよ!
コラー!
ヒャー
アハハ


そ…そんな
事無いよ~
ただの
幼馴染が毎日
お弁当は
無いって~
キャ
キャ

俺は
三人の会話より
さっきの
靴を履く時に
見えた
聖子の
白い太ももで
頭がいっぱいだった…
モン
モン
ムチッ

どうしたの
良樹？
ボーとしちゃって
あ！いや！
ナンデモナイヨ～
？

ほら！
行こう！
あ…
聖子！
パ
シッ

ギャハハハ
ワハハ

バタ
バタ
聖子！
ドン
タタタ
え!?
…あ！
おい！
山下
危ないだろ！
ドキ
ドキ
ごめんごめん！
カア…
かばってくれた…
ま、いいじゃん
ハグ
出来たんだし
わっ
バッ

ばか！ぶつかっちまったじゃねーか！
バカはお前だけだよ！
アハハ
ギャハハ

ガキなだけでしょ
アハハ
本当にしょうがないなぁ～もう
朝から元気やねぇ
何気ない毎日

きっと僕達二人は同じ気持ちで
チラッ

だけど…
急にごめんな聖子
友達以上恋人未満のこの関係が
心地よくて
アハ

全然！ありがとう良樹
エヘヘヘ
告白しなくてもずっと俺の聖子で隣にいると、思っていた――

そんな
ある休日

ドタ

ほら～！
起きなさ～い！

バタ

うわぁ！

えっと…

今日は
休日ですが…？

そうよ！
でも…

お母さんと
おばさんから

～♪

お使いを
頼まれちゃったの！

ケケ

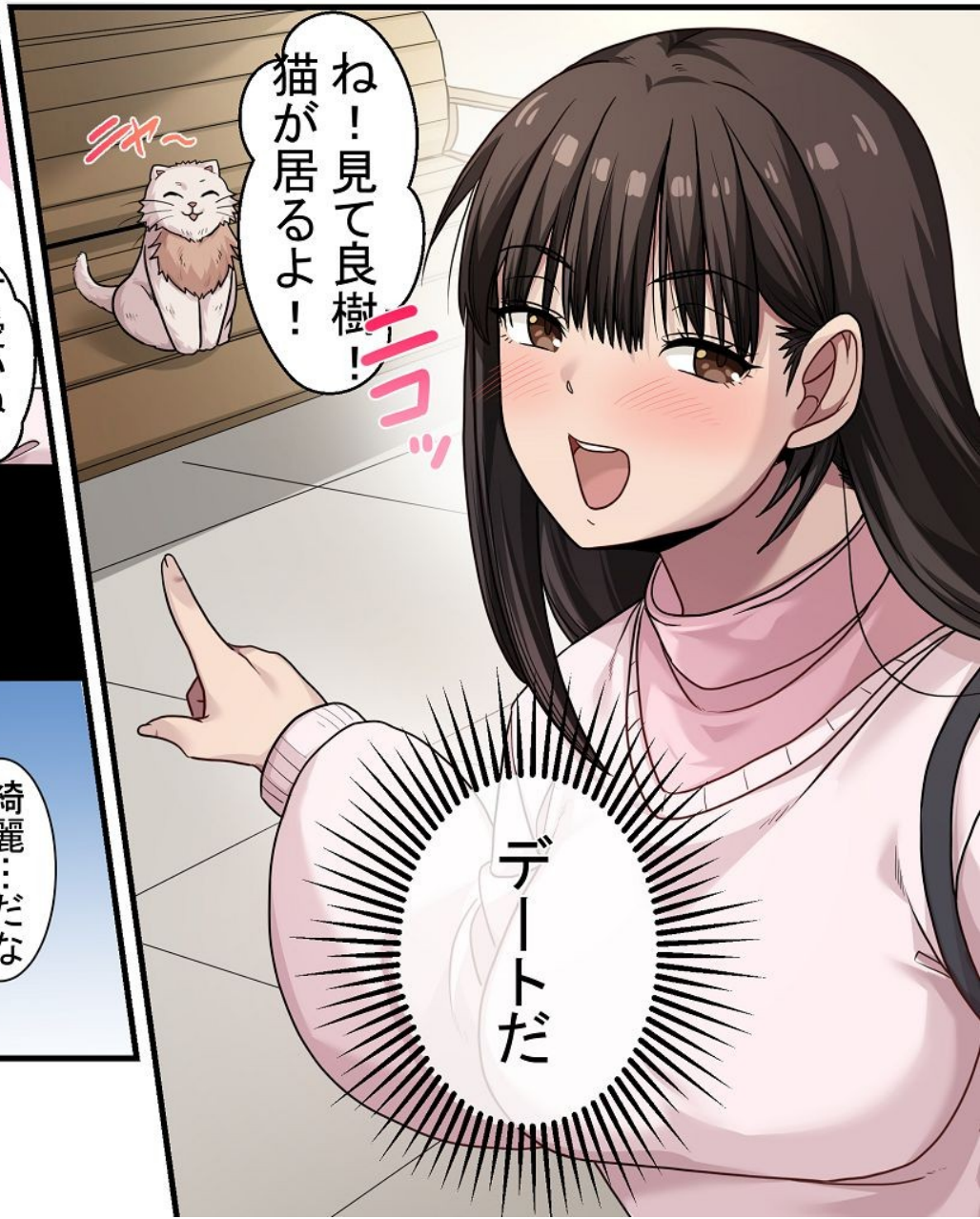
はぁ…？
お前と、二人？

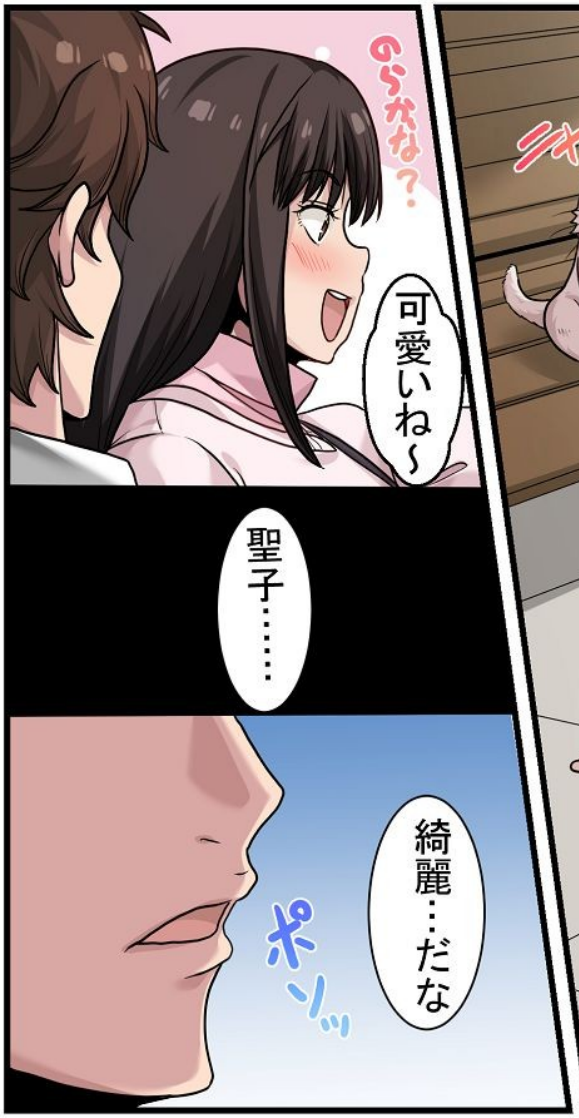
なんか…
いつもより
可愛いな……？

そう、だけど……
プクッ
ムゥ
お母さんと！
ピ
おばさんのお願いで
二人での
おつかい！
ビッ
ビッ
ふたり…
ポン
あ！二人から…お願いで…ね！
そ…そういう事！
も…もう！分かったら早く用意して！
カア。
う！…うん！すぐに！

私服で
可愛い幼馴染と
プップー
ガヤ
ガヤ

二人きりの
おつかい
いや、これは……


ね！見て良樹！
猫が居るよ！
ニヤ～
ニコッ
デートだ


のらかな？
可愛いね～
聖子……
綺麗…だな
ポソッ

え！
ボッ
バッ

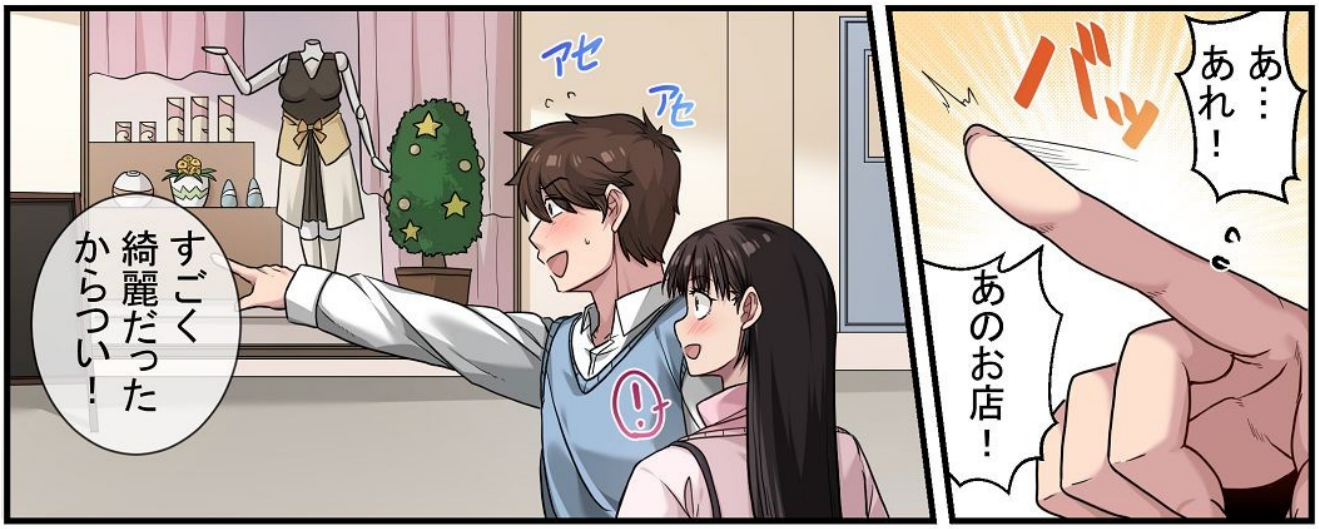
今…
き…綺麗…って？
え！僕…今…声に…!?

コワッ
あ！…いや！あの！

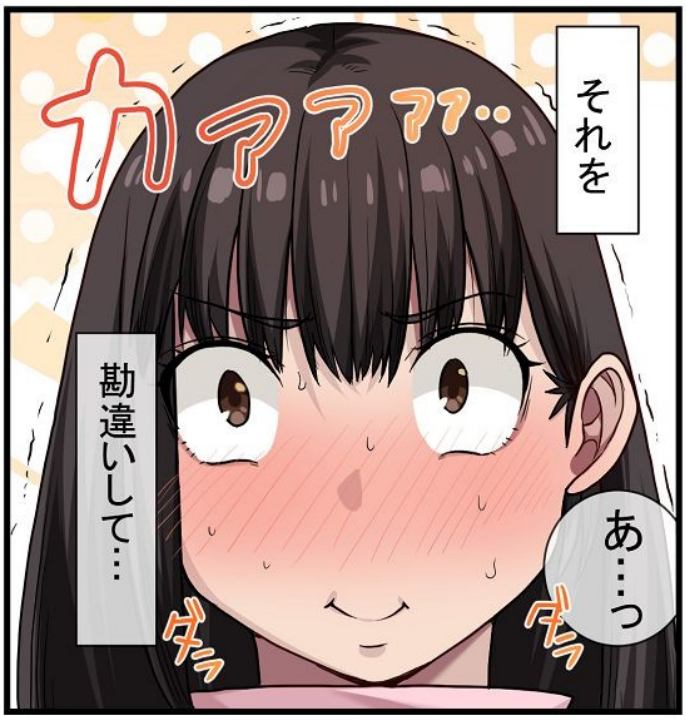
カアァ
褒められちゃった…！
ドキ
ドキ

アセ
アセ
やばい変なこと言っちまった…！

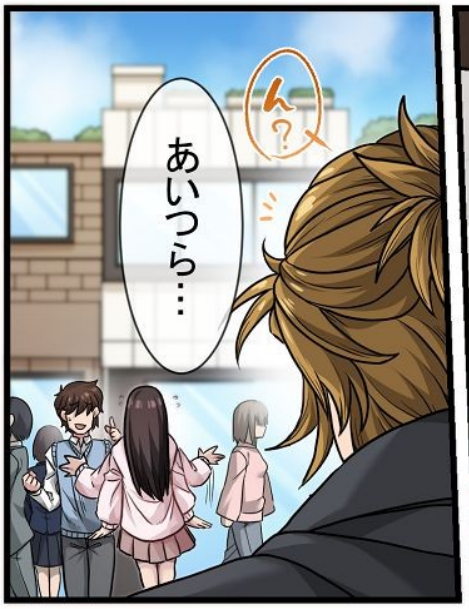
ごまかさないと……！

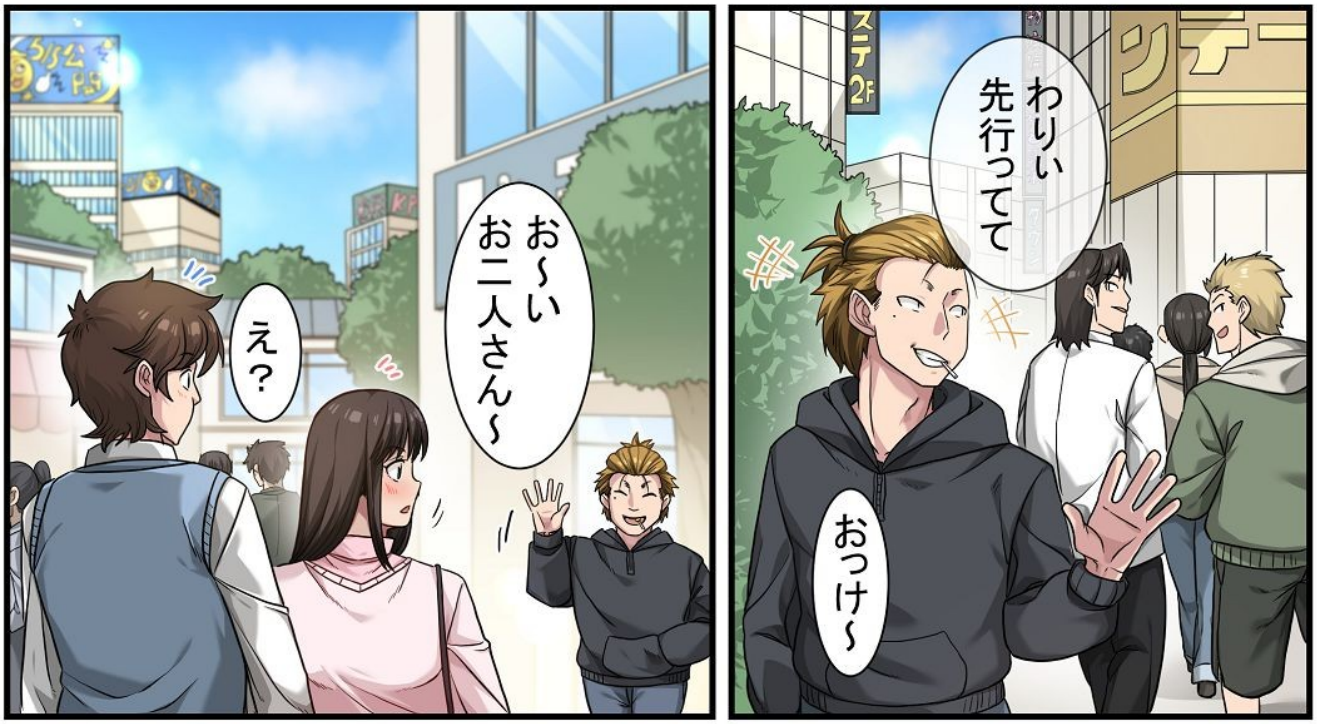

バッ
あ…あれ！
あのお店！
アセ
アセ
すごく綺麗だったからつい！

…ディスプレイ？


カアアアア…
それを
あ…っ
勘違いして…
ダラ
ダラ

あ～本当だ！すっごい綺麗だねぇ！
アハハ
そ！そうだろ！綺麗だよね！


ん？
あいつら…



ういっす～

古谷と五十嵐じゃんなにしてんだ？

レラ

レラ

山下君

山下

二人きりで買い物とか
やっぱデート？

ピッタリ
いやいやいやデートとかじゃないよただのお使いだよ

え～そこまで息ぴっらりで
二人ともおしゃれして
デートじゃないは無理有るって～
ズイ
ズイ

しつこいなぁ…
折角二人きりなのに…
ムウ
イラッ

いやいや！
違うって！言ってるだろ？
え～～？
！

…そこまで否定しなくても…？
ムッ

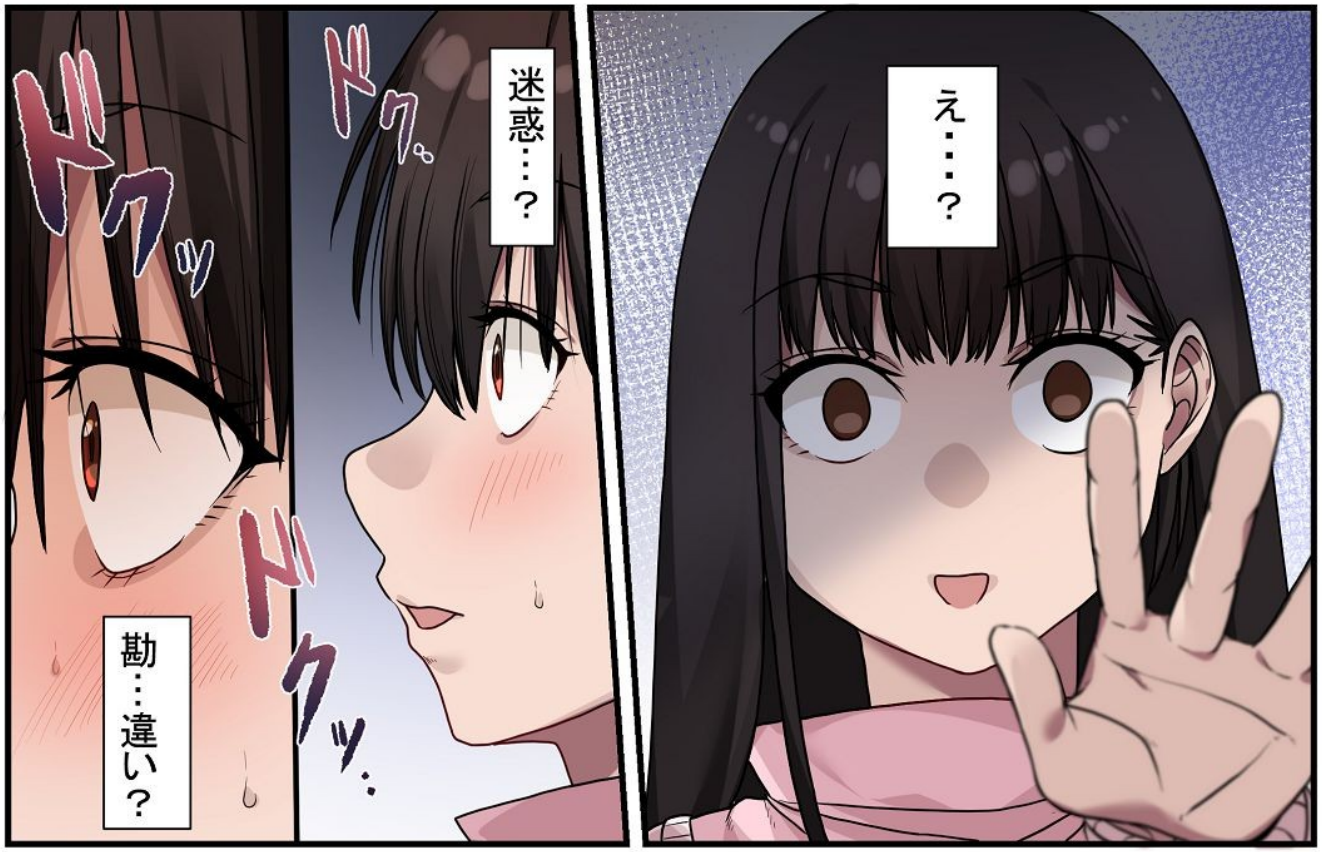
別に隠さなくていいだろ
内筒と佐竹
うちのクラスだって
相葉と和田
リーマンと米沢
付き合ってんべ？
インチョウ!?
ネ!? リーマン!?

あのな…僕達は…
あ～！もしかしてこうして弄られるの楽しんでるとか？
ビッ
しつこいな…

そ…そういうわけじゃ…
んならもうここで告っちゃいなよ
タジ
え！それは…
い～じゃん！い～じゃん！
タジ

え～マジでこういうのはっきりした方が良いて～
山下君もうその辺で…
そんなこと分かってんだよ…！
いい加減に…
こっくはく！こっくはく！
けど…
俺は……こんな奴のせいで告白なんか……
僕は聖子より好きな子がいる！
むしろべたべたされて迷惑な位だ!!
出来るはずないだろ！

妹みたいなもんだよ!!
かんちがいするな!!


え…？
迷惑…？
ドクッ
ドクッ
ドクッ…
勘…違い？

そう…だったの？
ギュッ…

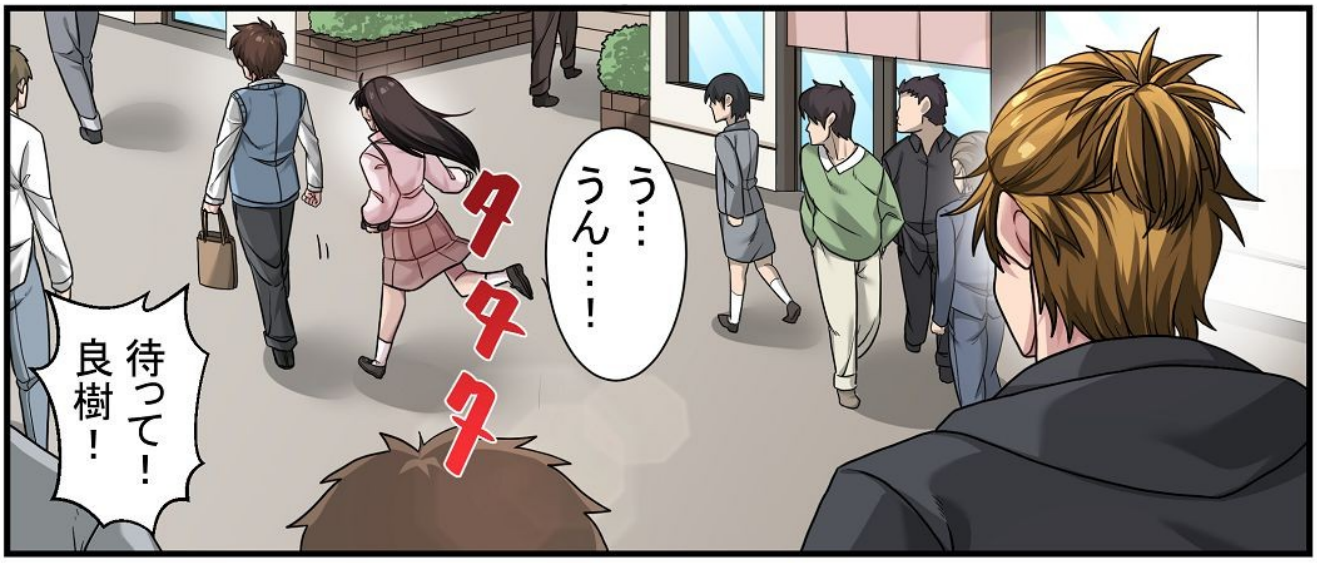
私…勝手に…
スッ

良樹の好きな人は自分だと…
今日も…一人で浮かれて…
ザリ

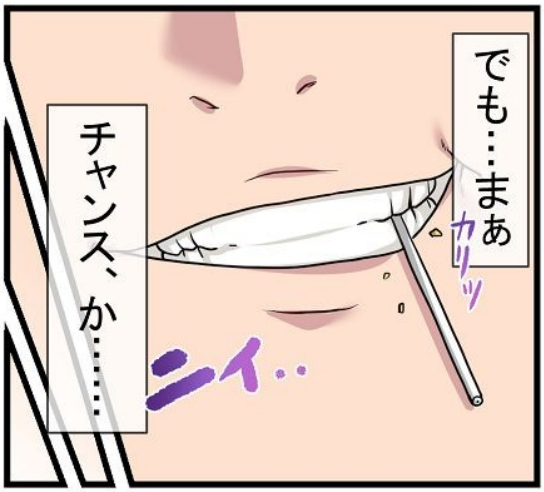
サッ
も…もう
いいだろ！

あ…おい…
ズン
ズン

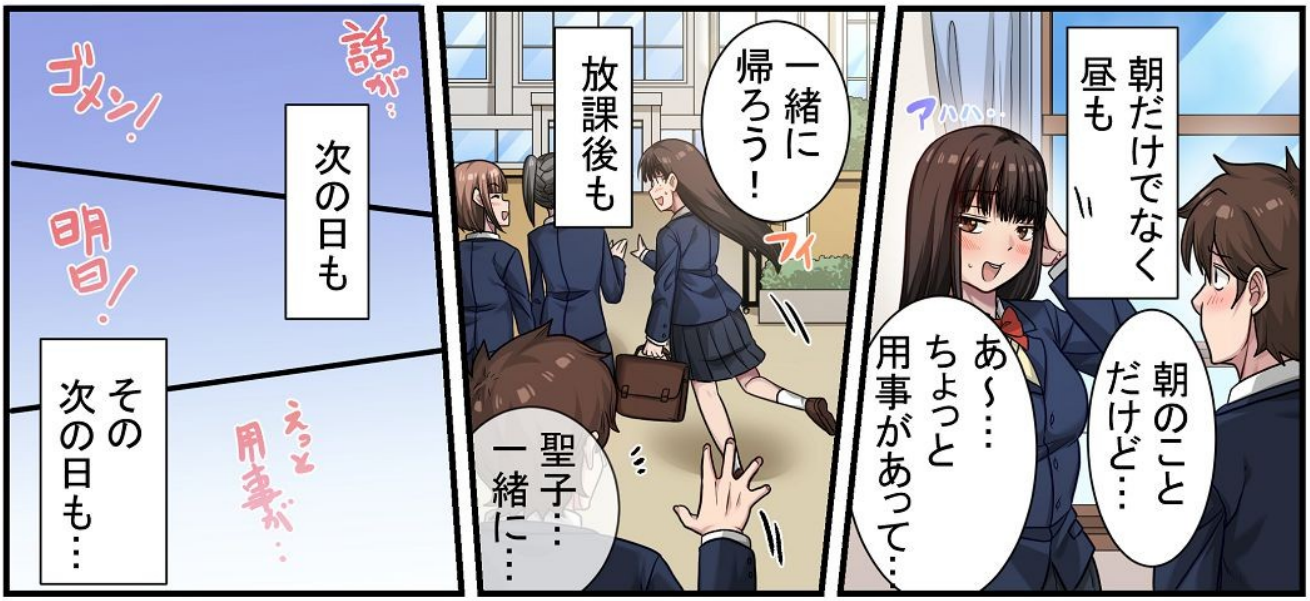
ハッ
聖子
もう行こう！

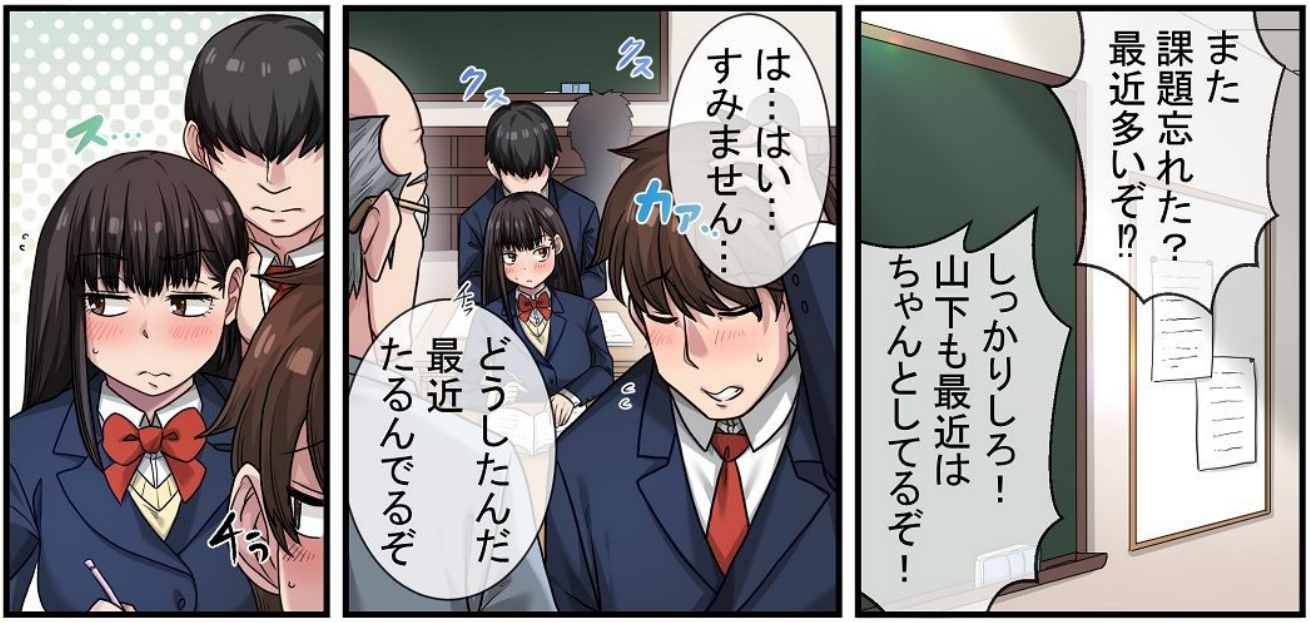

タタタ
う…
うん…！
待って！
良樹！

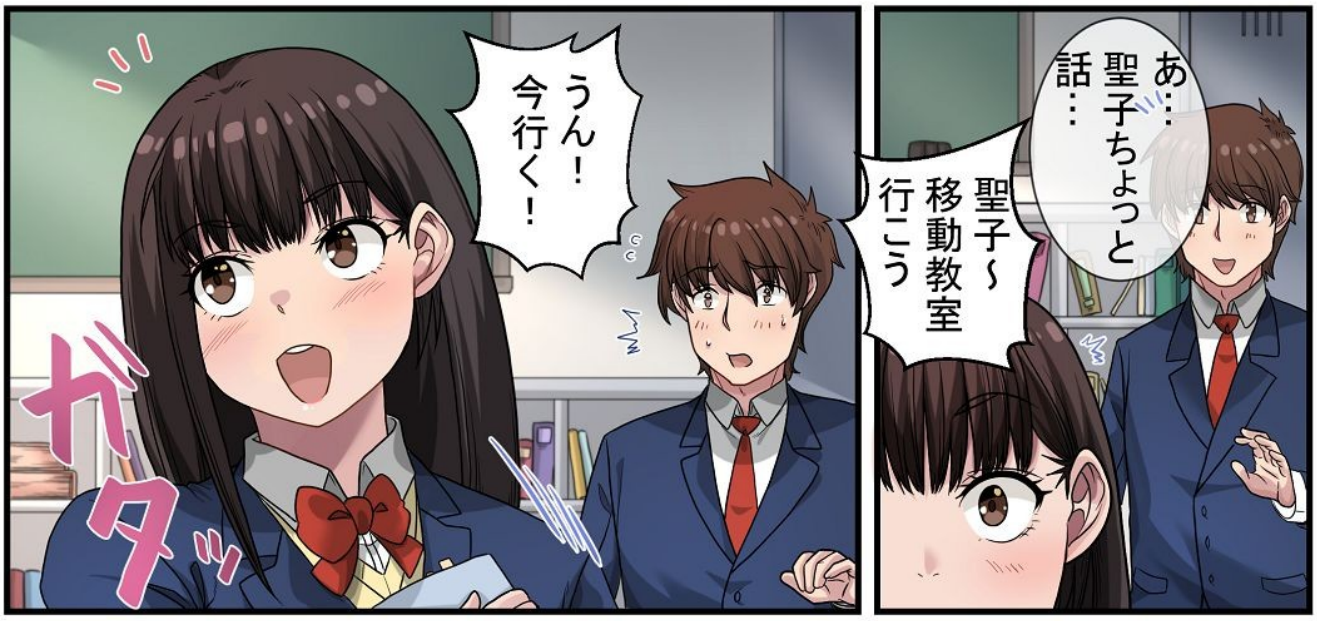
ポリ
ポリ
ん～…
ちょっと
まずったか？

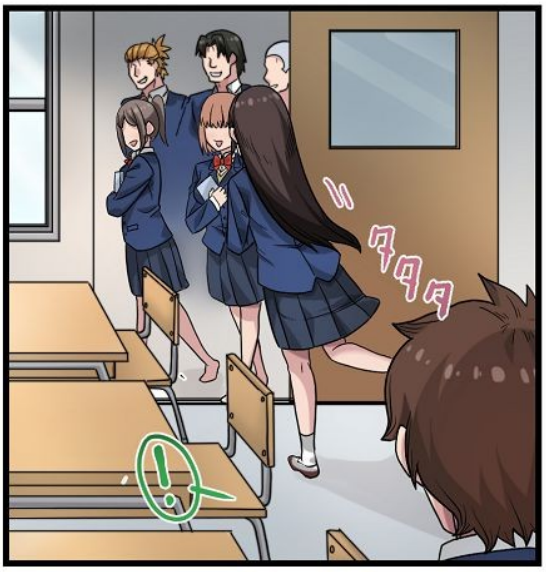

でも…まあ
カリッ
チャンス、か……
ニイ…

その次の日
うわ！もうこんな時間!?
ピピピピピ
ドタバタ
変だな…聖子は先に行ったのか？
ハァハァ
タタタタタ


朝だけでなく昼も
朝のことだけど…
あ～…ちょっと用事があって…
放課後も
一緒に帰ろう！
聖子…一緒に…
次の日も
その次の日も…
話が…
ゴメン！
明日！
えっと用事が…


また課題忘れた？最近多いぞ!?
しっかりしろ！山下も最近はちゃんとしてるぞ！
は…はい…すみません…
どうしたんだ最近たるんでるぞ
クス
カァ


あ…聖子ちょっと話…
聖子～移動教室行こう
うん！今行く！
ガタッ


タタタ

ヒョコ
ちょ…話を…

アハハハ
…え？あいつら…男子グループ…？
おまたせ！
あんなにいつの間に仲良くなって…

それに…
山下の奴…

アハハ

コラ！

もう！

イイジャン！

聖子と
近すぎないか…!?

あんなに
馴れ馴れしく
触って……

聖子も…
なんで
拒絶しないんだ？

あの日から一月

聖子は話をさせてくれないし

山下と聖子の距離は縮まってるし……

ようこ古谷

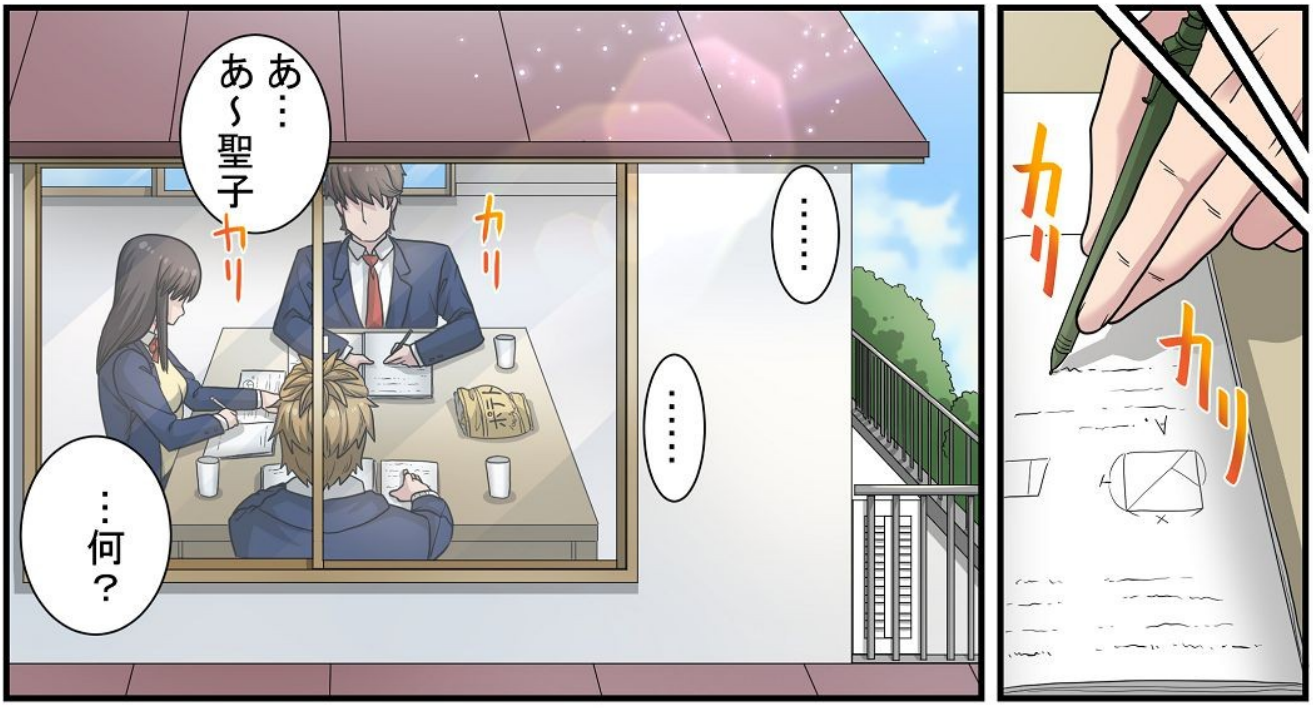
山下か…何か用か？

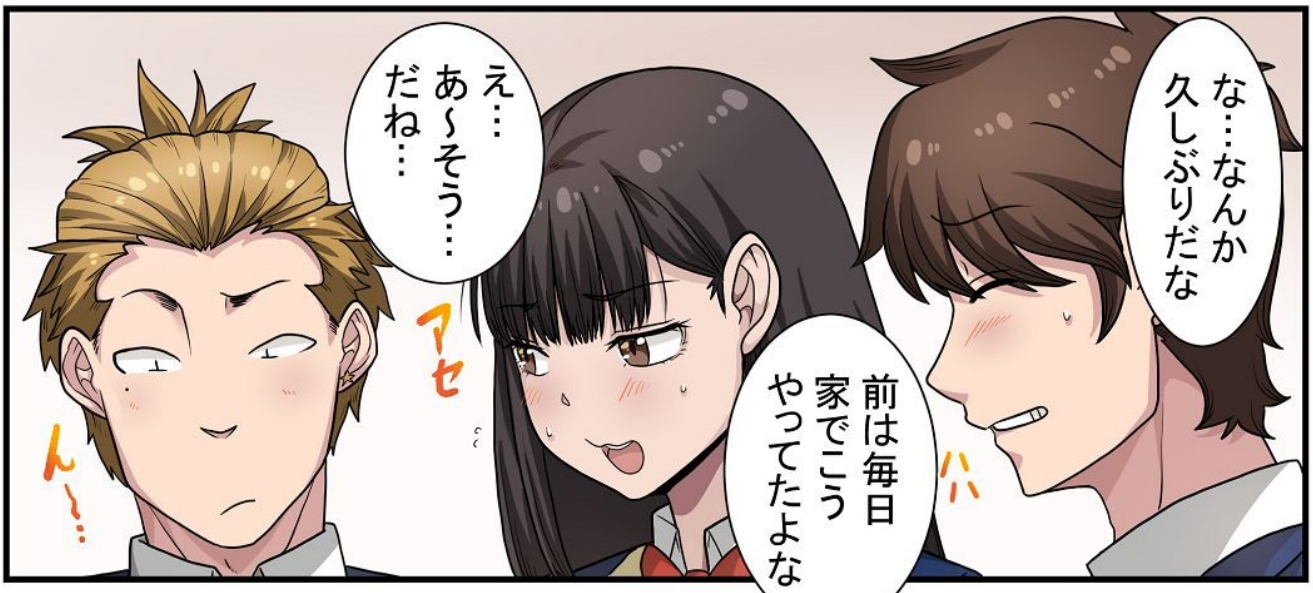
家で一緒に勉強会でもどうかと思ってな？

はぁ？なんでお前と…

古谷だけじゃないんだよ

五十嵐も来るんだよ


カリ
カリ
……
……
あ…
あ～聖子
カリ
カリ
…何？


な…なんか久しぶりだな
前は毎日家でこうやってたよな
え…あ～そう…だね…
アセ
ん～…

それでさ…
ガタ
あ！築君そこ違うよ？

築…君？下の名前で？
ゾワ

だからここは～昨日も言ったでしょう？
は？そうだっけ？
昨日…も？
スス
え～
ここはこうして～
ちょ…距離が近く…ないか…？
え～？わかんねぇよ

そ…そんな可愛いだなんて…

ニヤ ニヤ

いやいや本当に羨ましい！

もう！からかっても何も出ないわよ！

モヤ

いちゃついてないか…？

そんな事より！

もぅ！

話逸らさないで勉強！

ナハハ…

あちゃ～ばれちゃった…

ビッ

いや、友達ならこのくらい……

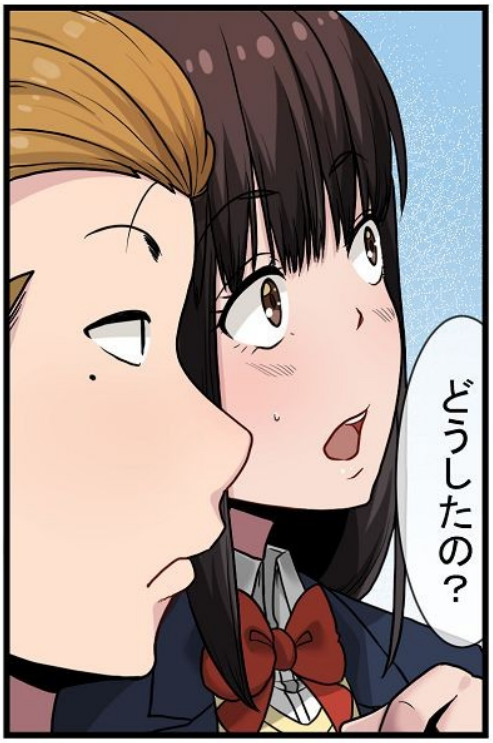
もう！築君は！

わりいわりいって…ハハハ

近すぎるだろ！

ムニュ

ッ限界だ！


どうしたの？

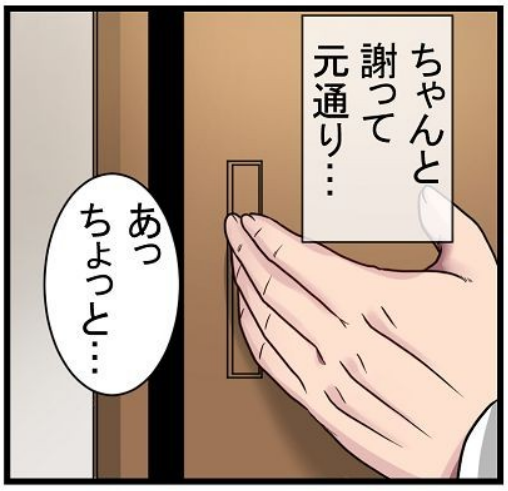
ちょっとトイレと…
外の空気吸ってくる
あ…
あぁ…

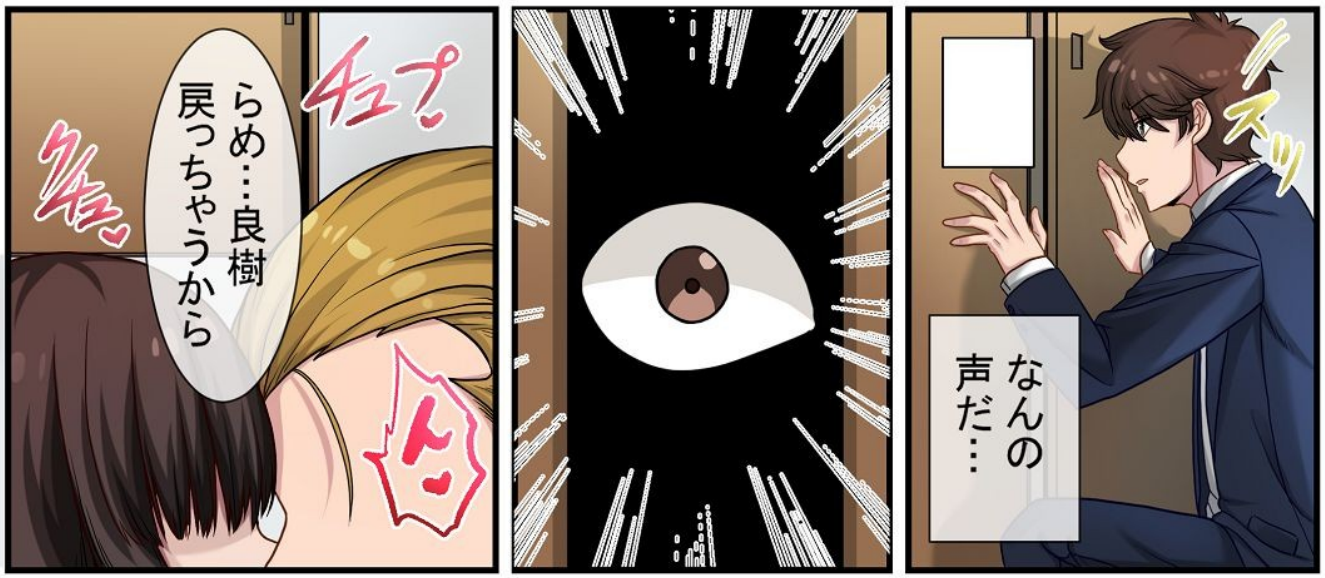
何なんだ
あれ…

この前の
当てつけか？
ボボ…
いつまで
あんな嘘に
怒ってるんだよ

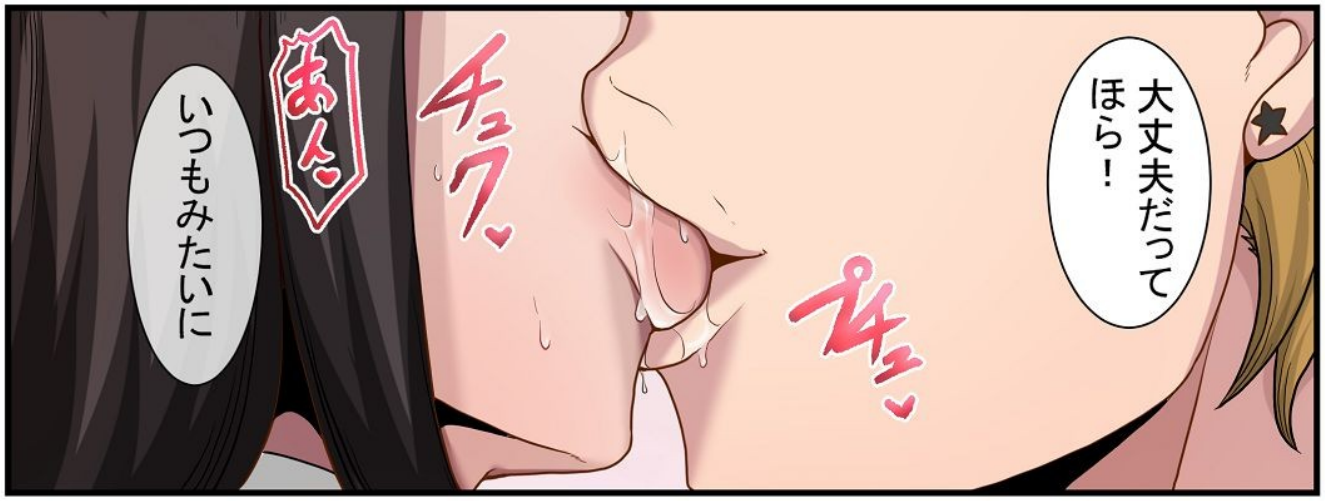
とは言え…

勢いとはいえ
ちょっと言い過ぎた
かもしれない


ちゃんと
謝って
元通り…
あっ
ちょっと…


スッ
なんの声だ…

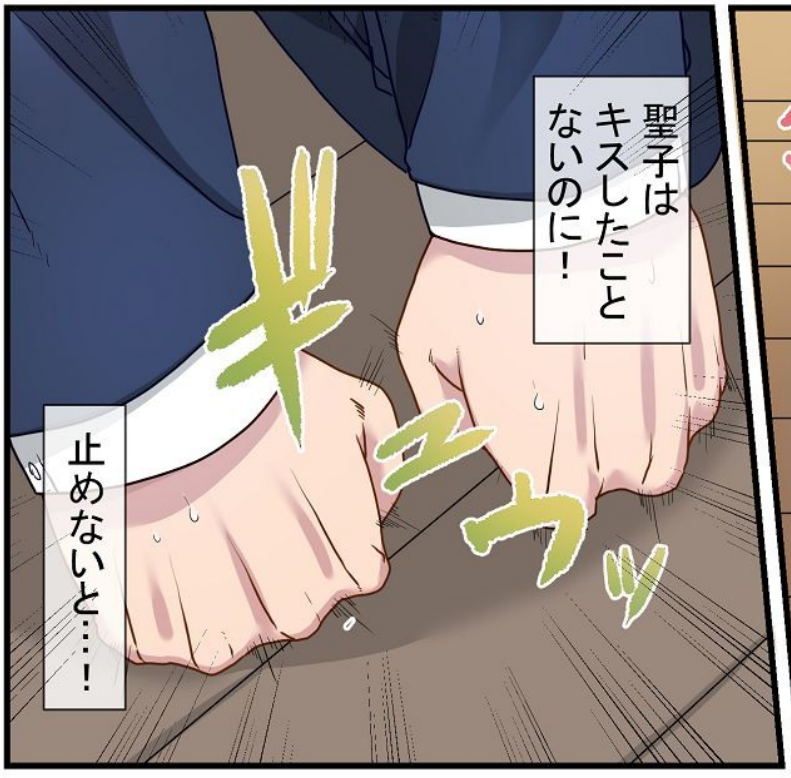
チュプ
クチュ
らめ…良樹戻っちゃうから
ん


大丈夫だってほら！
プチュ
チュク
あん
いつもみたいに

グググッ

なんで…
ドク
ドク
ドク
二人が…

チュプ♡
ん♡ん♡
はぁ♡
クチュ
キスしてるんだ！？
キュ♡



はぁぁ
ハァ
ハァ
ハァ
ヌチュ
ヌチュ
ん
ハァ
止め……
クチュ
ヌチュ
全然嫌がって…
ない?!
ドッ
ドッ
ハァ
ハァ
もうおしまい！
良樹が戻ってきちゃう
え～？
スッ
ツゥ

しょうがねぇなぁ…

幼馴染君にはコンビニにでも行ってもらうかぁ

僕が見てると分かってて！？

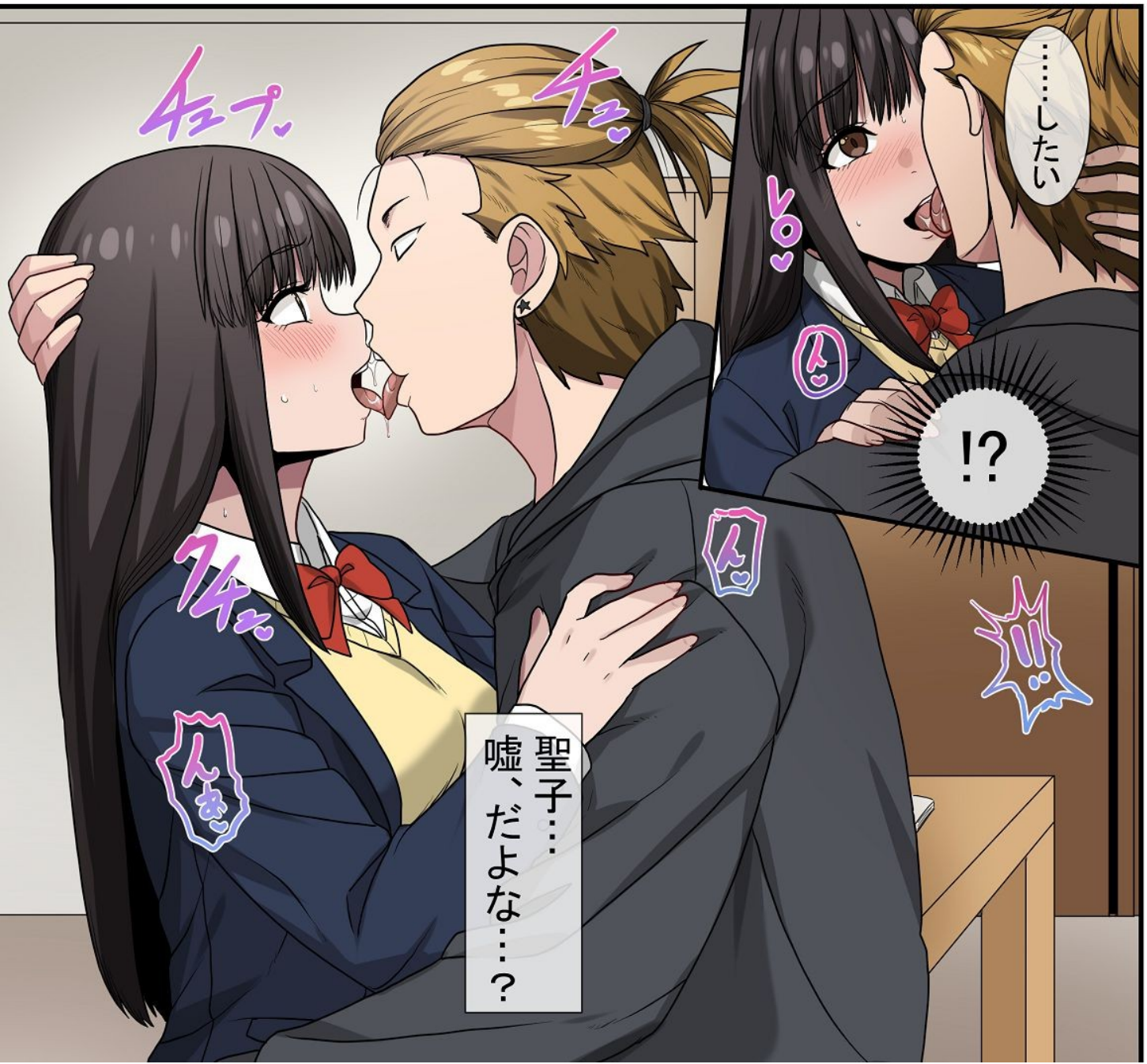
見ても良いけど邪魔すんなよ

お前は『ただの』幼なじみ

今日はお情けで『俺の彼女』を紹介するために呼んでやっただけだ

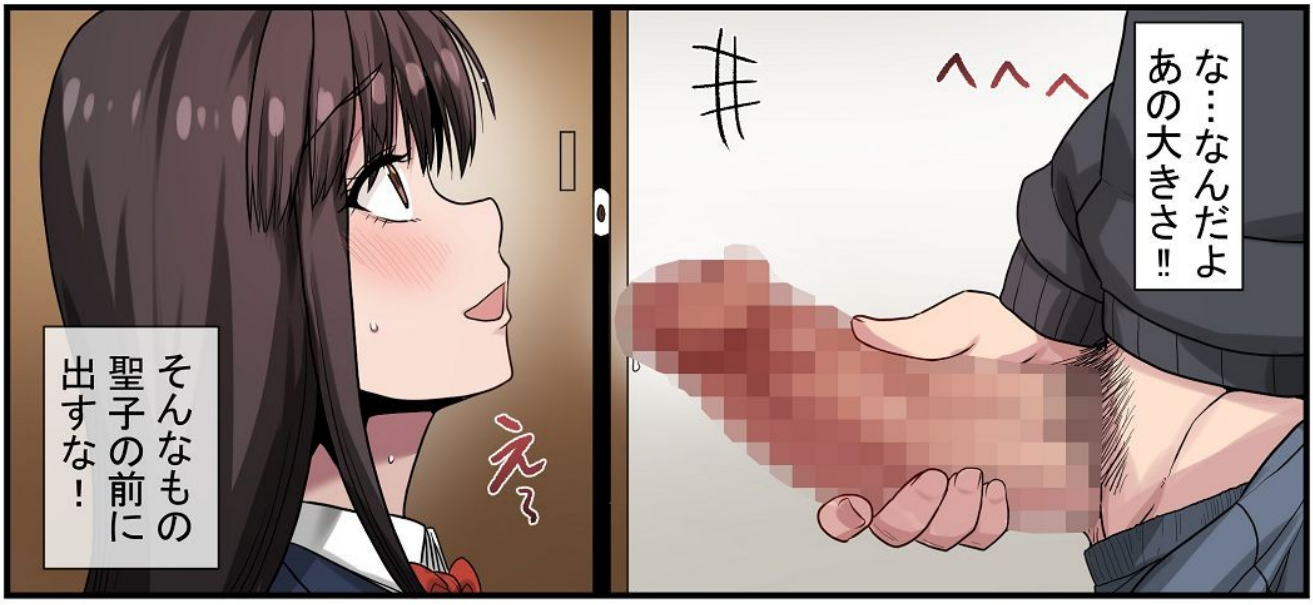
クソッ！
勝手な事言いやがって
ギリ

これでもう安心
聖子も続きしたかったろ？
ポイ
したいわけ無いだろ！


……したい
!?
!!
聖子…嘘、だよな…？
チュプ
チュ
クチュ
ん

ガ
ギ
ズウウ

ブルン
んじゃぁ いつも通り 準備してくれよ
え!?


な…なんだよ あの大きさ!!
そんなもの 聖子の前に 出すな!
え~

ほれほれ
ちゃんとしないと
痛いのは聖子だぞ？

ん…
うん…

グイ

んぐ…

へへ！良い顔に
なってきたな

だって…
築君のコレ
好きだからぁ…

ハァ♡

ハァ♡

毎日毎日
学校でも
覚えさせたからな

学校でも…

ドキ

ドキ

ドキ

毎日…

ほら
いつもみたいに
出来るよな？

う、うん…

やめろ！
止めてくれ！

そんな奴の
チンコを…

やめてくれぇぇぇ！

そんな奴の
前に跪いて…

当たり前みたいに
舐めないでくれ…

あ…
あぁぁぁぁ！

あの日…嬉しそうに食べていた…
ぺろ
同じ口で
ぺろ
ぺろ
ぺろ
んぶ
山下なんかのチンコを
口にしないでくれ！

それにしても
ラッキーだったぜ

まさかあの
聖子がまだフリー
だったなんてなぁ

チラッ

ドキッ

俺ずっと
聖子の事
好きだったんだよな

ハァ♥

カァァ

も…もう
嘘ばっかり！

チュ

嘘じゃねぇよ
聖子はマジで
可愛くて健気で
最高の女だからよ

ハァ♥

ハァ♥

レロ♥

チュパ

ズチュ
プチュ
うは！聖子…急に激しっ…！
グブ
ブプ
ん
ん
今の言葉そんなに嬉しかったのかよ
ん
喉奥に出してやる
んん
ズン
グヴッ☆
へへ！やっぱ最高の女だぜ

全部！全部飲め！聖子！
ふぅ
ビュク
ビュクク
ドビュッ
ん
ビュルル
嘘だろ…
プハァ…
ハァ
ん
ん
ゴクッ
ぐぅぅ
ハァ
聖子が精液を飲むわけ…

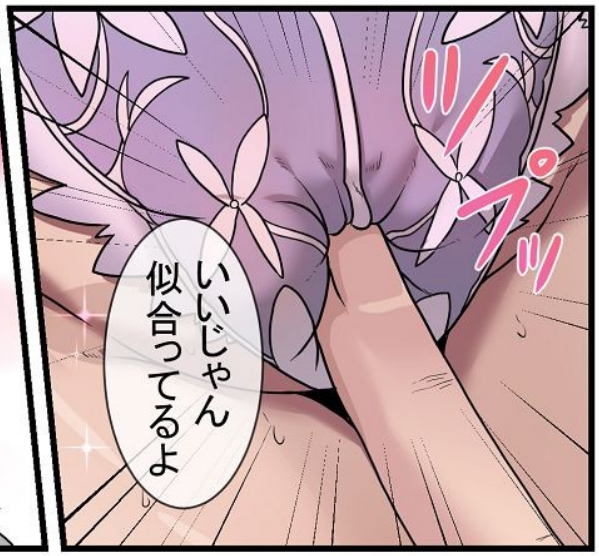
どれ？見せてみろよ
ゲイ
ん…？
ん…♡
今日も全部飲んだな
クチュッ
クチュ

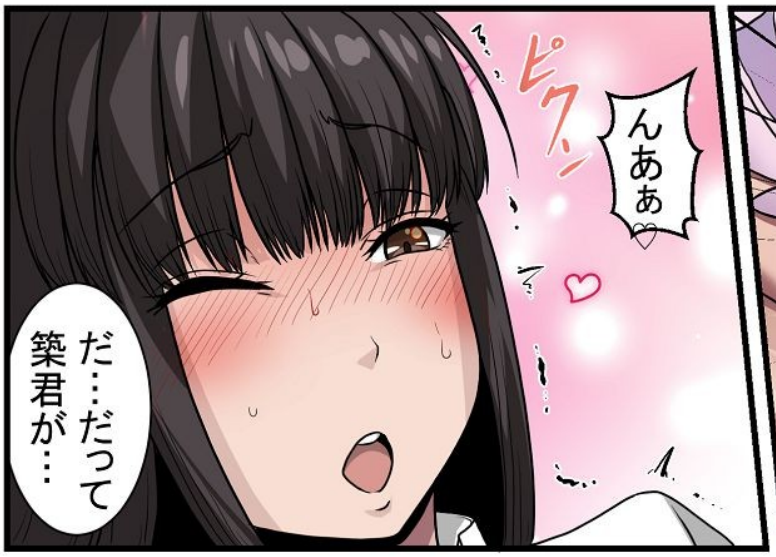
えらいぞ聖子
チュッ
あ…
ハァ♡
チュク♡
チュ♡
チュク♡
チュ♡
なんだよ…そんな甘えて…！

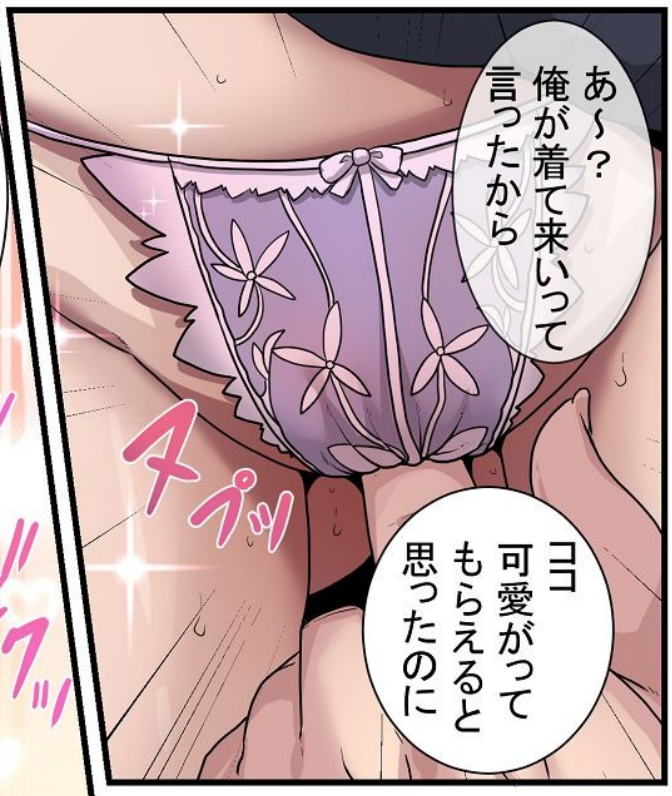
それじゃぁ幼馴染君がいない間に
本番始めるか
ほ…本番…！
ドキ
ドキ
うん…
いいよ築君♡
カァァ
聖子の…下着姿……
シュル
スッ
スッ
プチ
プチ

へぇ
言いつけ
通り

この間買わせた
エロいの着て
来たんだな







悪かったって
ほら弄って
やるから座れ

トサッ

ん…あぁ♡

スプ

チュクッ

本当に
俺の彼女は

ドキ

ドキ

ビクン

ん

あ

スケベで
可愛くて
困っちまうよなぁ

はは！
スケベって言われて
感じてんのか？

ハァ

ハァ

ビクン

ち…ちがうよ
そっちじゃなくて

可愛いとか私…
言われ慣れて
ないから…

嬉しくて…

クチュ

スププッ

何度でも言ってやるよ
あぁ…♡
ジクッ
ジクッ
聖子は可愛い！
聖子は良い女だ！
聖子はスケベな最高の俺の彼女だ！
ん
ビクッ
プチュ
クチッ
ほら！スケベな聖子に指追加だ！
ん
ビク
あ
ズッ
チュクッ
ズプ
グプッ
あぁ

なんだよ
そんなに彼女呼びが
嬉しいのか？

ん

あっ

いつもより
熱々でキュウキュウ
締め付けるじゃねぇか

チュ

クチュ

ダメぇ…
いわないでぇ

ギリッ

これなら
もう準備
出来てるだろ

チュ

チュ

ん…
うん♡

じゃあもっと気持ち
よくしてやっから

!

チラッ

ペロッ

いつもの
やれよ

…本当にやるの？

プチッ

パサ

も…もう～あれ恥ずかしいんだよ？

トロ

ミシュル

いいじゃん俺あれめっちゃ好きなんだよ

ドキ

ドキ

スッ

俺のもんだぞ～！って感じが最高なんだよ

も～しょうがないなぁ築君は…

ハァ♥

カァァァ…

ハァ♥

え…と今から山下築君の彼女である

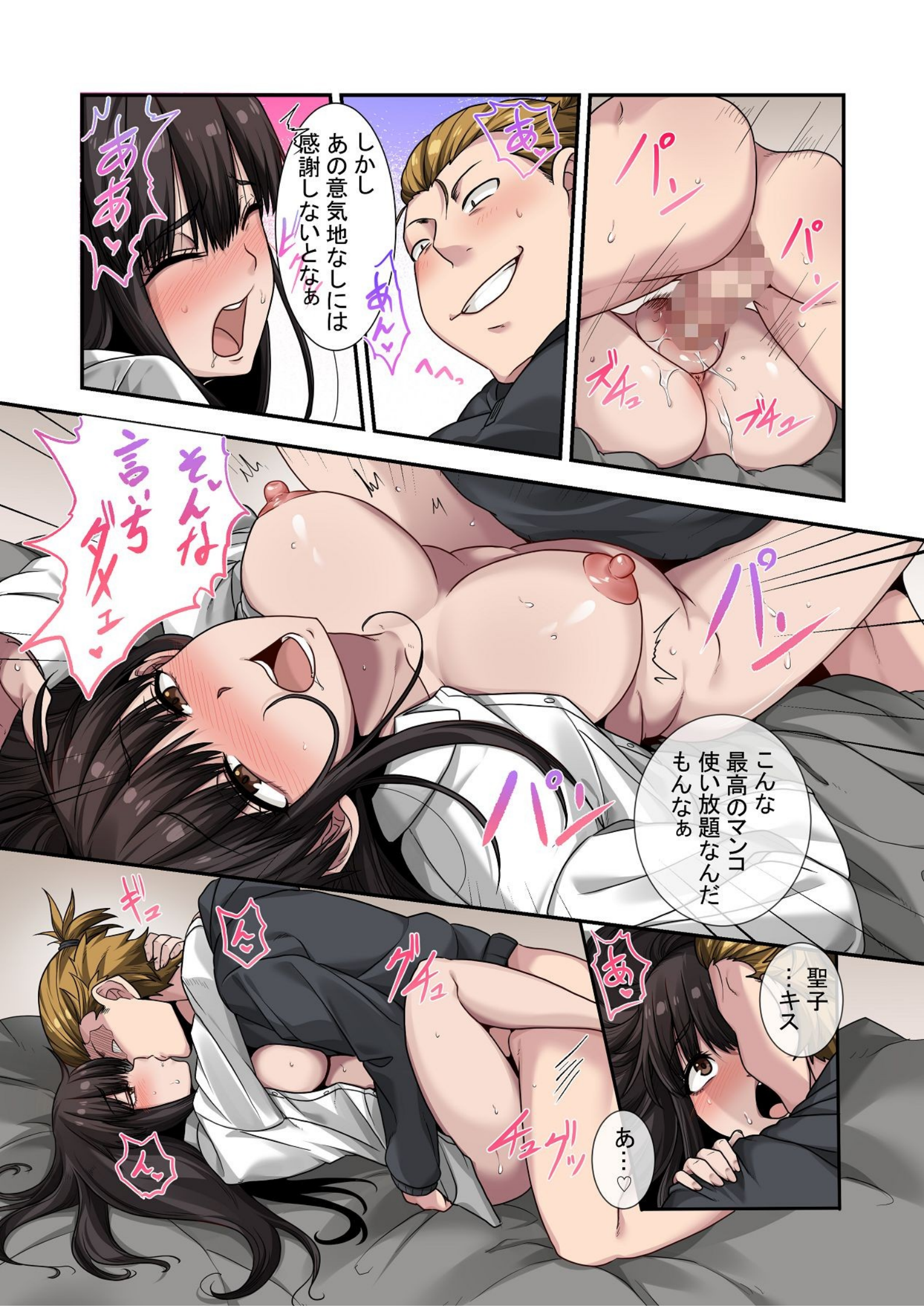
五十嵐聖子のオマンコをオチンチンでいっぱい可愛がって気持ちよくしてください♡

クパァ♥

トロォ♥

お…お願いします♡
ニコッ
トロ
ぎゃはは！良いぜマジで最高！
ほら！俺のチンコもバッキバキだ！
ビキッ
ビクッ
トロッ
あ…♡
あっ♡
ツプッ
入れてやるぞ～
んん♡
ズブッ
ずぷずぷって入っていくぞぉ
あ…ああ♡
んあっ…
ズブッ
ああああっ♡

奥…まで…
えぇ
ビク
あっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ


パン
パン
ズチュ
ブチュ
あ
しかし
あの意気地なしには
感謝しないとなぁ
あ
あ
あ
あん
へへっ
そんな
言っちゃダメェ
パン
パン
こんな
最高のマンコ
使い放題なんだ
もんなぁ
聖子
…キス
あ…♡
あ
ん
ん
ギュ
グチュ
チュグッ

あ、
パン
パン
あん
パン
パン
そう言えば聖子
パン
パン
お前本当の所古谷の事どう思ってたんだ？
パン
パン
チラ
!?
ビクッ
え？…
ええ？…
良樹の事…？
ピク
ほら言えって～
ん
す…好き！
聖子！やっぱり！
ガタッ
だった…
!!
…と
ズプ
ズチュ
思う…

で…でも幼馴染で…

ずっと一緒だったから…

本当は…本当に家族みたいな好きだったのかも…って

私もうわかんなくなっちゃって

パン パン パン パン パン パン

ん あん アッ アッ ん あぁ

あの時良樹に「勘違いするな！」って言われて
私も勝手に勘違いしてたのかなって！
勝手に良樹の彼女みたいな顔して…！
ずっと一緒だと思って…
ズプ
ズブッ
深…
あっ
ズチュ
ズク
あん
あっ
あっ
違う…違うんだ…！

辛かったなぁ聖子…可哀そうに
ん♡
グイ
あっ♡
あぁ…築くぅん♡
悪かったなぁ思い出させちまって…
んぐぅ♡
俺なら絶対聖子を幸せにしてやるぞ！
こんな風に…な！
ズブブ

ありがとう…
築君…嬉しい

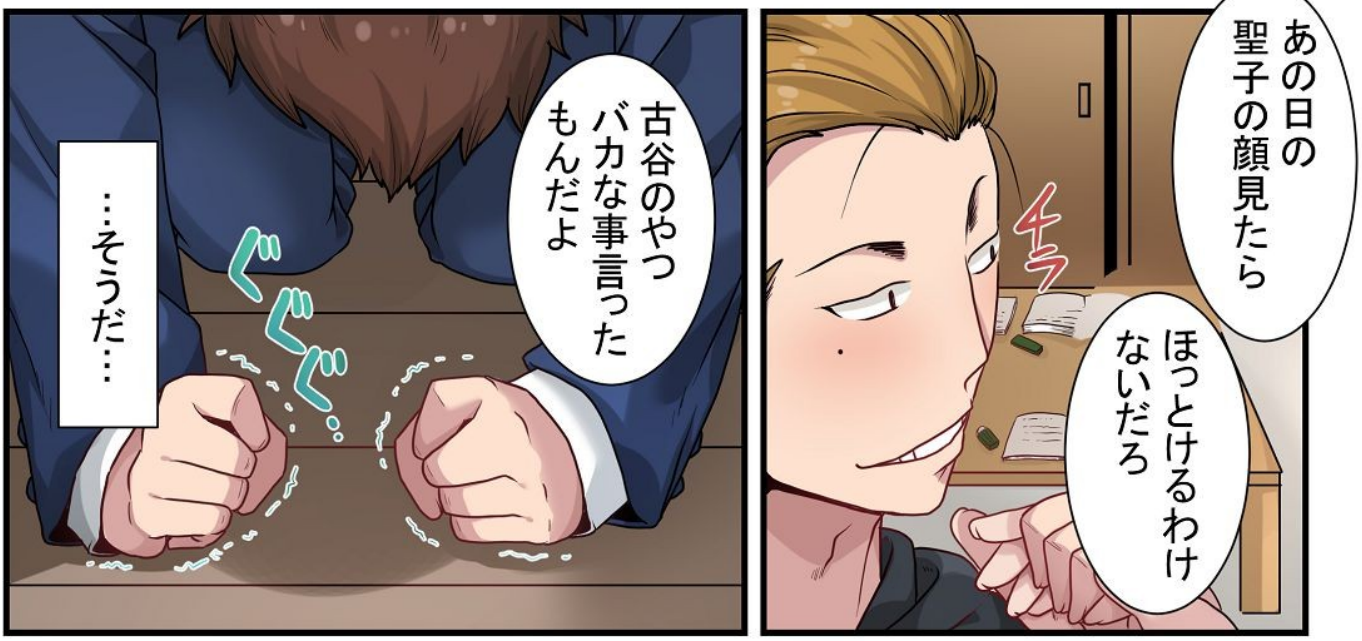
あの時も
築君が慰めて
くれたから

本当に…
嬉しかったの

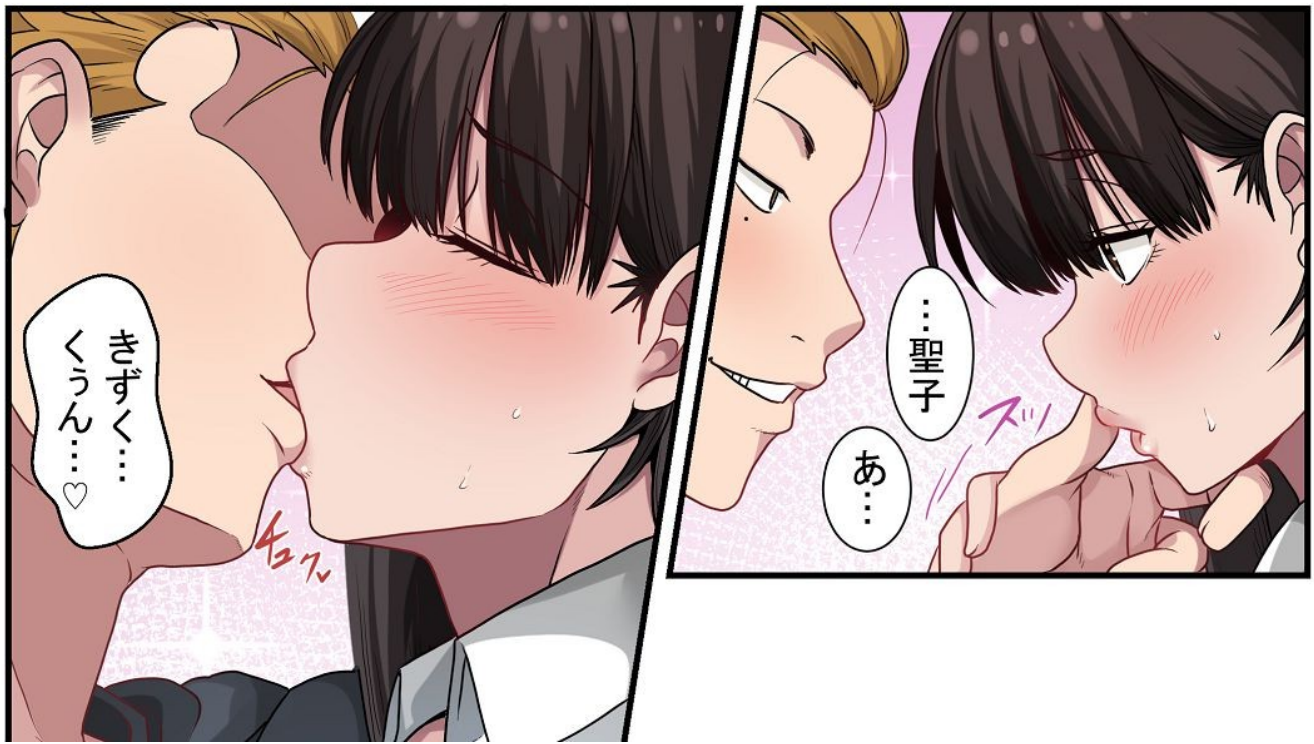
まるで
独りぼっちみたいに
なった時に

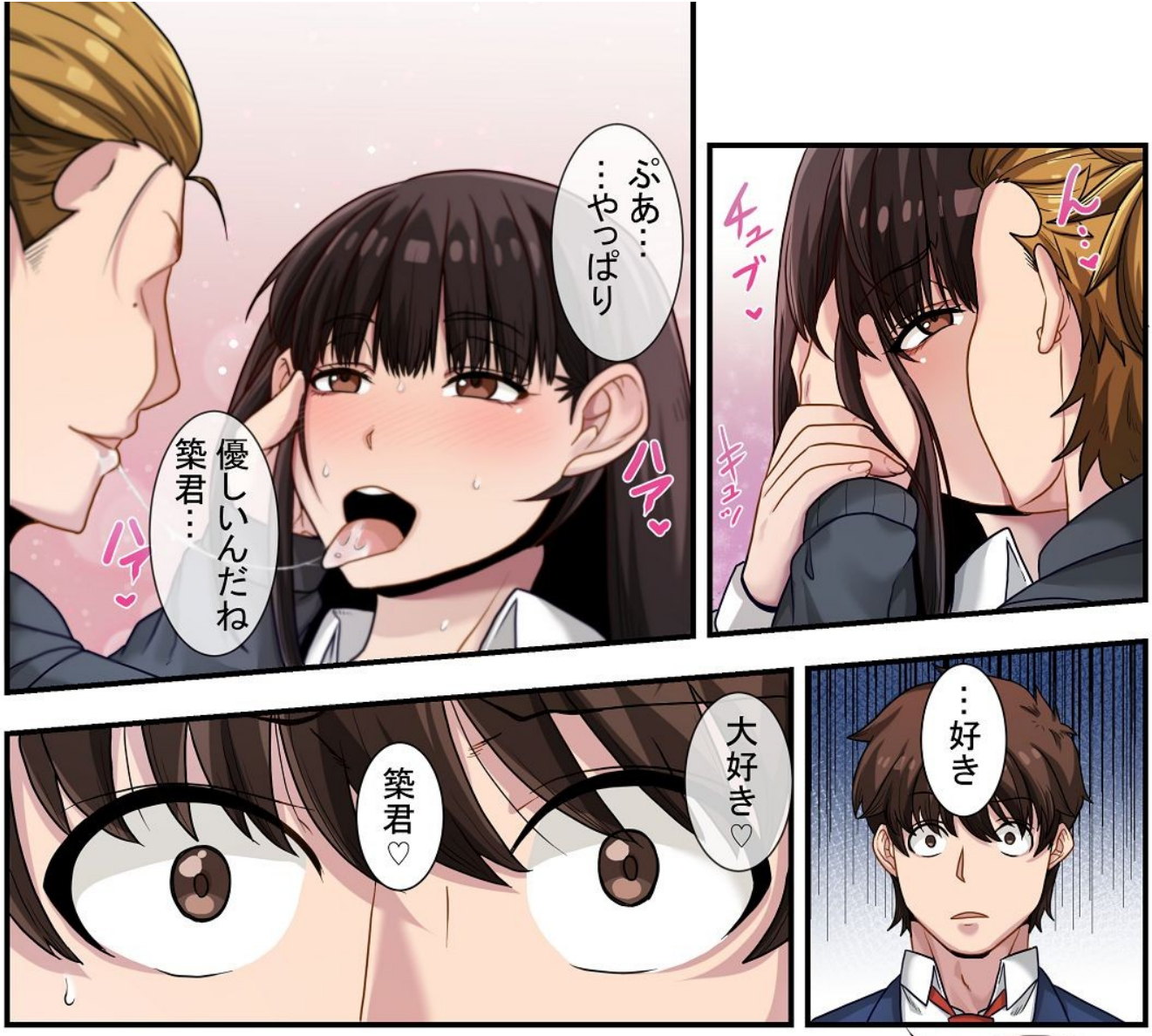
築君が
傍にいてくれたから

私…


あの日の聖子の顔見たら
ほっとけるわけないだろ
ケラ
古谷のやつバカな事言ったもんだよ
…そうだ…
ぐぐぐ…

聖子なら離れないからって
俺がバカだったんだ
傷つけて悲しませて…


…聖子
あ…
ズッ
きずく…くぅん…♡
チュプ


ぷあ…
…やっぱり
優しいんだね
築君…
ハァ♥
ハァ♥
ん…♥
チュブ♥
キュッ
…好き
大好き♡
築君♡

俺も
愛してるぜ！
聖子
あぁあぁぁん♥
あ♥
んん♥
ぐぢゅ

ハァ
ハァ
ハァ
そうだ この可愛い耳に
あ…
スリ スリ
ピアス 開けようぜ
ピアス？
ぐっ
聖子は そういうの 絶対しない！
おしゃれの為に穴を 開けるなんて ありえないよ！
ないない… 親に貰った 大事な体だよ？
え… ええ…
ピアスは… 怖いよぉ…
大丈夫…
んあ
ドッ
チュン
…だって！

ちょっと
チクッと
するだけだって！

アッ♡

ビクッ

ビクッ

ドチュ♡

アアッ♡

ビクン

ドチュ♡

お揃いだぜ？
聖子が誰の
ものなのか

ハッ

ハッ

一目で
分かる様に…
な？いいだろぉ？

アッ♡

ん♡

で…
でもぉ…

パン

パン

パン

断る…よな？
聖子
言ってただろ……

昨日の
ドラマ見た？

あのヒロイン
ありえないよ！

ドキ

ドキ

ドキ

ほいほい
何でも言いなりに
なってさ！

お揃いのピアス…
ぐ
!?
考えとく…
ハッキリ断れよ！聖子
聖子が変わっていく…
ははっ！おっけぇ！
アッ
ん♡
ぜってぇ似合うぜ！聖子
パン
パン
アイツの好みの女に…
んあぁまた硬くなったぁ♡
ビクン
アッ♡
ダメェ
キュウ

嬉しいぜ聖子！
あっ
あぁん
キュウン
んぁぁ！まだ開けるって言って無いのにぃ♡
ハァ♡
ハァ♡
あっ
んん♡
ぐぐっ
もう決定だよ！どうせ俺の言う事
パン
パン
断れねぇだろ？
あっ
ビクッ
ん♡
あぁん♡そう…だけどぉ♡

だってぇ築君が喜んでくれたら
あ
ズプ
嬉しいからぁ！
ブチュ
なら…もう一つお願い聞いてくれよ
ん
パン
ニッ
古谷とのこと前みたいに戻せよ
あっ
パン
え？
ど…どうして急にそんな事？
ハァ
ハァ
他の男の子とベタベタして嫌じゃないの？
キュ

他の男の子…

ビクッ。

僕はもう…他人なのか…

心配すんなって！

グイッ

あっ

そもそもお前はもう…

俺のデカチン以外じゃ

んあぁ

お…奥っ

N

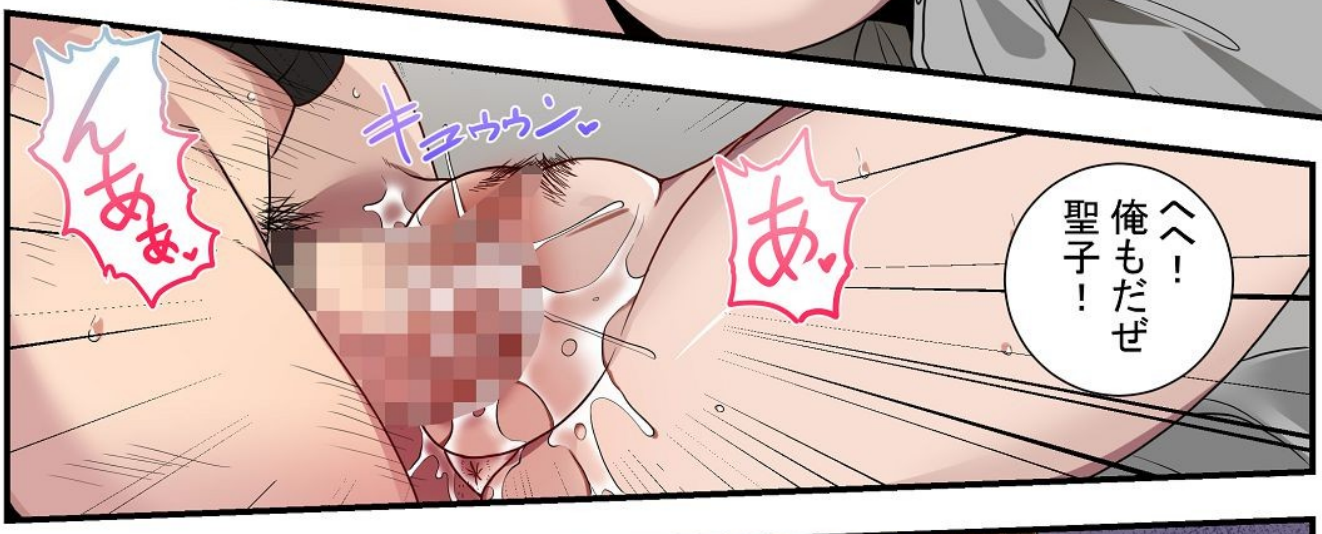
ビクッ

ギュ

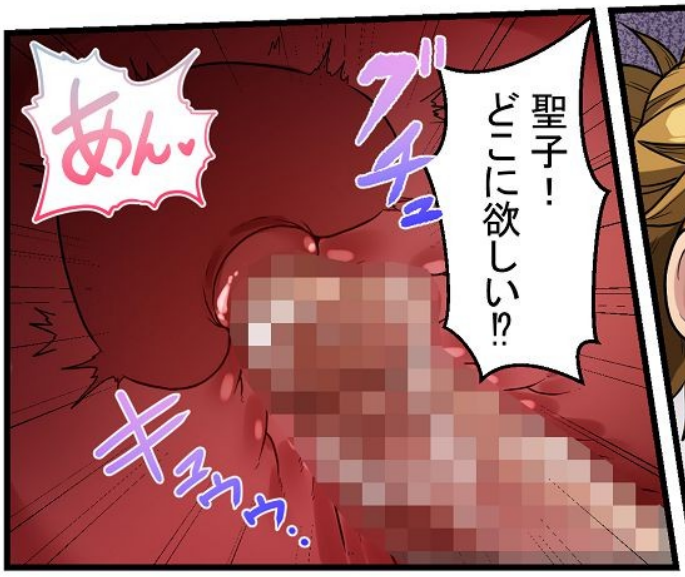
どうせ気持ち良くなれやしねぇんだよ

だってもう古谷はただの幼馴染なんだろ
ハァ♡
ハァ♡
アイツ最近ボッチ気味だし可哀そうじゃん？
ん♡
チュ♡
だから聖子が前みたいに相手してやれよ
あ♡
ん…築君がそう言うなら
レロ♡
プチュ♡
やっぱり優しいんだね築君…
キュウン♡
ハァ♡
ハァ♡
あん♡
ブチュ♡
チュブ♡
パン♡
パン♡
だろ？へへ、すげぇ締め付けじゃん！

好きぃ♡
優しい築くん
大好きぃ♡
ギュウウ♡
あぁ♡


へへ！俺もだぜ聖子！
あぁ♡
キュウウン♡
んあぁ♡

ヤベェ…もう上がってきた！
ぐぐ


聖子！どこに欲しい!?
グチュ
あん♡
キュンッ…

ビク
ビク
なかぁ…！なかにいっぱい
ドクッ
ドクッ
ちょうだぁい
ドプ
ドクン
ドクン
ああ…
中にいっぱい…
グッ
…なんで…

なんで…
僕は

あんな奴に
中出しされてるのを
見せられて…

ビン
ビン
ジュワ

あ…
ビク
ビク
ポタ
ギッ

うぐぅ…

最悪なのに…

ん♡
チュプ♡
チュ♡
んちゅ♡

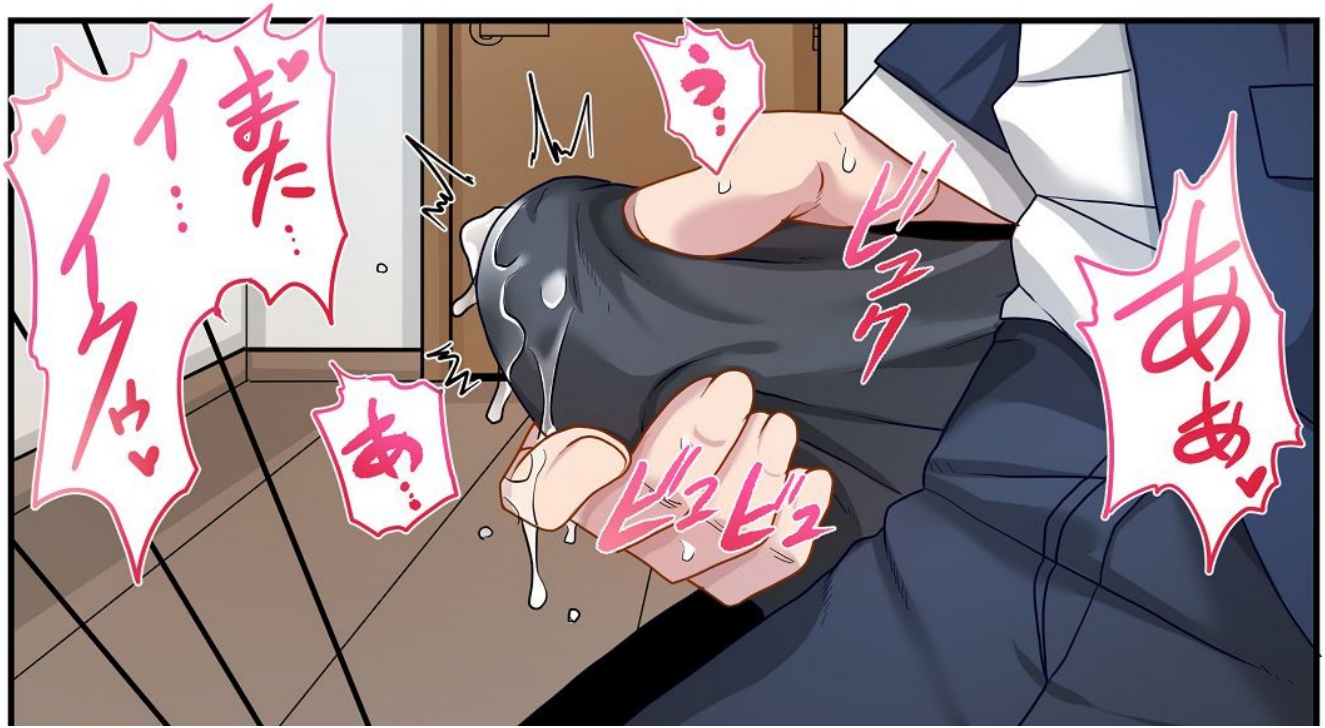
二人から…
目が離せない…

ハァ…
ハァ…
ぶな…♡
菜くぅん…♡
ギュ…

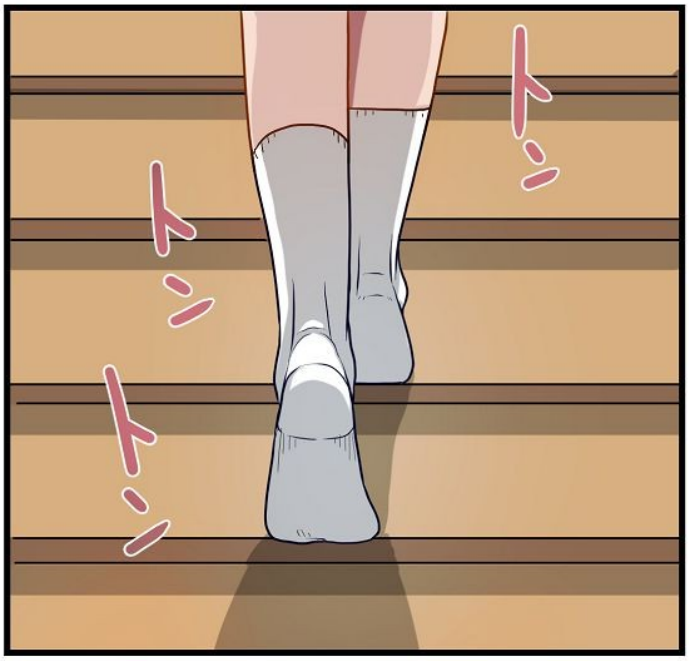
ほら…聖子
上にまたがれ

う…
うん…♡

あっ♡んあぁ♡
ゆのがぐちゃぐちゃってぇ♡
ズズッ
ズズ
ブプ



翌朝
お邪魔しまーす
チュン
チュン


トン
トン
トン

ふぅ…もうしょうがないなぁ

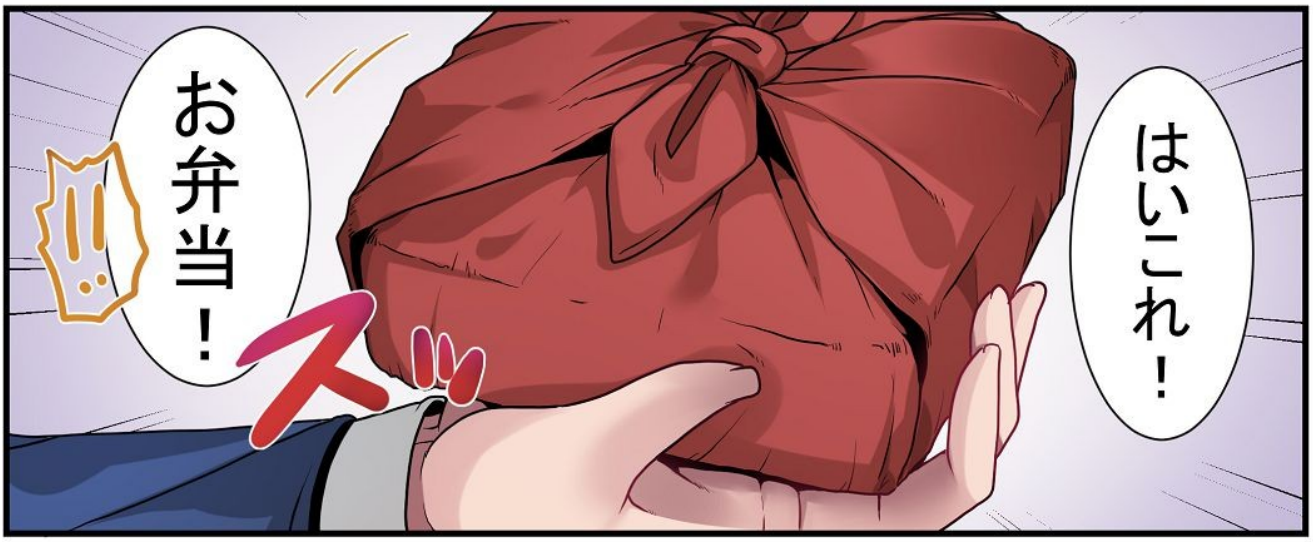
ほら！起きて！
起きてったら良樹！
ユサ
ユサ

パチッ
ビクッ
しょ…聖子！
ガバッ
うわ！

ドキ
びっくりしたぁ…
ドキ
えっと…そのとりあえず今日からまた…前みたいに…ね
ガチャ
兎に角…「ソレ」収めて来てね！
ダッ
外で待ってるから！
!?
バタバタ
あ！ええ？待って…
あ…
もこっ
ガク
ハァ～
あぁ…最悪だ…

ご…ごめん…お待たせ
あ…うん…
アセ
アセ

あ…そうだ
ガサ
ゴソ


はいこれ！
お弁当！
!!
ス

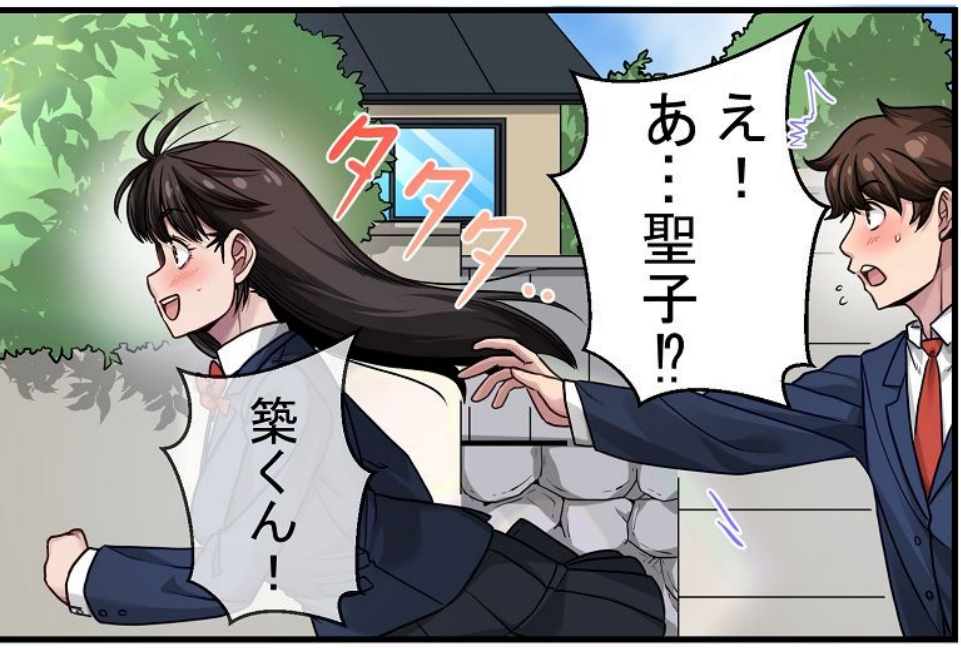
うわぁ！ありがとう！嬉しいよ！
も…もう！大げさだよ！
キキ
ピシ

それと…卵焼きの味…変えちゃってるし…
え、うん…？
アセ

まるで
昨日の事が

夢だったかの様に
自然にふるまう
聖子…

パン
パン
ああ♡
おおー
んちゅ♡
プハッ♡
ドク
ドク



ああ…夢じゃ…なかったんだ

聖…

おっはよう♪きず…山下君♡

お？おぉ…はよ聖子

楽しそうだな…

そうそう！

それでね！

ポン

はい！お弁当！だし巻き入りだよ！
お弁当まで…
スッ
おぉ～さんきゅう～
えへへ～
ドキッ
だし巻き好きなんだよなぁ
それと…卵焼きの味…変えちゃってるし…
わりいな古谷
俺まで「ついでに」弁当貰っちまって
ほら…山下君いつもパンだから…その…ね？
え…あ…ああ…
トン
アセッ
アセッ
「ついで」は僕の方じゃないか…
ギュッ

なぁ？
ポン
そんな怖い顔すんなよ
？
お前がただの幼馴染だって言ったんだぜ？
スッ
まぁ俺の彼女だけど…
ヒソッ
おさわり程度なら目をつぶってやるぜ？
…また自分の慰みに「使って」も良いぜ
コイツ…
カァ…
聖子を何だと思って…
ふざけんな！
バ
キィ
おおっと…

ちょ…!? ちょっと！
何！どうしたの良樹 そんな大声出して！
びっくりするじゃない
キラッ
え!?
山下と…同じ…!?
ドキッ
お揃いの…ピアス…！
へへへ！何でもね～って！
ワシャ
ワシャ
ああ～
ちょっとからかっただけだよ！
ヒドイ
もう！綺麗にしてきたのにぃ～
キャ～
あ…!?
ササッ
ピョコ
山下君がイジメるよぉ！

俺にはもう

山下の言いつけ通り

幼馴染でいてくれる彼女と

きたね～ぞ聖子～！

山下～やめろよぉ！

良樹は私の味方だもんねぇ～だ！

ヘラ

ヘラ

アハハッ

ありがとう！良樹！

友達として過ごすことしか許されていない